

イミダクロプリド (案)

今般の残留基準の検討については、農林水産省から消費者庁に農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく再評価に係る連絡がなされたこと及び適用拡大申請に伴う基準値設定依頼がなされたこと、関連企業等から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針」に基づく残留基準の設定要請がなされたこと並びに食品安全委員会において内閣総理大臣からの依頼に伴う食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：イミダクロプリド [Imidacloprid (ISO)]

(2) 分類：農薬及び動物用医薬品

(3) 用途：殺虫剤/寄生虫駆除剤

クロロニコチニル系殺虫剤である。ニコチン性アセチルコリン受容体に結合し、神経伝達を遮断するなどの作用により殺虫効果を示すと考えられている。

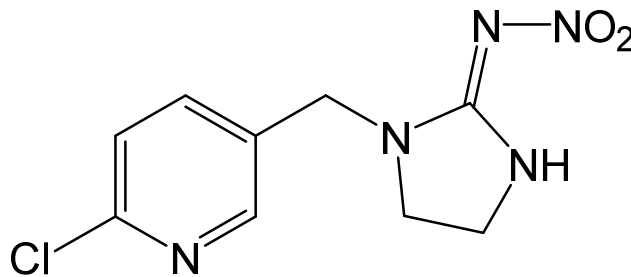
動物用医薬品としては、ペット用のノミ、シラミ等の駆除剤並びに畜鶏舎内及びその周辺のイエバエの駆除剤が国内外で使用されている。国内で承認されているイエバエの駆除剤は、動物体に直接適用しない製品である。また、海外では、大西洋さけ及びにじますに寄生するサケジラミの駆除を目的とする薬浴剤が承認されているが、国内では承認されていない。

(4) 化学名及び CAS 番号

(*E*)-1-(6-Chloro-3-pyridylmethyl)-*N*-nitroimidazolidin-2-ylideneamine (IUPAC)

2-Imidazolidinimine, 1-[(6-chloro-3-pyridinyl)methyl]-*N*-nitro-, (2*E*)-
(CAS : No. 138261-41-3)

(5) 構造式及び物性



分子式 $C_9H_{10}ClN_5O_2$

分子量 255.66
 水溶解度 6.1×10^{-1} g/L (20°C)
 分配係数 $\log_{10}P_{ow} = 0.6$ (24°C, pH 4.0)
 $\log_{10}P_{ow} = 0.7$ (24°C, pH 7.0)
 $\log_{10}P_{ow} = 0.6$ (24°C, pH 9.0)

2. 適用の範囲及び使用方法

(1) 農薬としての使用方法

本剤の国内及び海外における適用の範囲及び使用法は、別紙1-1、1-2及び1-3のとおり。

(2) 動物用医薬品としての使用方法

① 国内での使用方法

本剤の国内における対象動物及び使用法は以下のとおり。

製剤	対象動物及び使用方法		休薬期間
イミダクロプリド を有効成分とする 防虫剤・殺虫剤	全畜産動物	<p>設置法：床面積100 m²当たり200 gを、畜・鶏舎内の通路及び出入口等の家畜が経口摂取できない場所に適切な容器に入れて設置する。本剤の使用量はイエバエの発生状況により増減する。</p> <p>塗布法：床面積100 m²当たり200 gを160 mLの水に均一になるように混合し、約15～30分後にペースト状になったことを確認してから、家畜が直接接触することのない壁や柱等の一ヵ所あるいは何か所に分けて、畜・鶏舎全体の塗布面積が2～4 m²になるように塗布する。</p>	—

—：設定されていない。

② 海外での使用方法

魚類に係る残留基準の設定についてインポートトレランス申請がなされている。

製剤	対象動物及び使用方法		休薬期間
イミダクロプリド を有効成分とする 薬浴剤	大西洋さけ及びにじます	海水1 L当たり20 mgを溶解し60分間薬浴する。	98度日*

※度日 (degree days) : 水温と日数の積算温度 (水温(摂氏)×日数)

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、水稻、なす、トマト、りんご、ばれいしょ、とうもろこし及び綿で実施されており、可食部で親化合物の残留が認められ、10%TRR^{注)}以上認められた代謝物は、代謝物M01 (なす及びばれいしょ)、代謝物M03 (とうもろこし)、代謝物M06 (なす、ばれいしょ及び綿種子) 及び代謝物M14 (なす) であった。なお、代謝物M06 (メチルエステル体を含む。) (綿種子) 及び代謝物M08 (メチルエステル体を含む。) (綿種子) が認められたが、抽出又は分析過程において生成したアーティファクトであると考えられた。

注) %TRR : 総放射性残留物 (TRR : Total Radioactive Residues) 濃度に対する比率 (%)

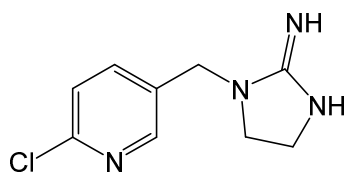
(2) 家畜代謝試験

家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、一部の組織を除き、親化合物の残留が認められている。可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物M01 (泌乳山羊の肝臓)、代謝物M02 (泌乳山羊の筋肉、脂肪及び乳並びに産卵鶏の筋肉、脂肪及び卵)、代謝物M02 (グルクロン酸抱合体を含む。) (泌乳山羊の腎臓)、代謝物M03 (泌乳山羊の脂肪並びに産卵鶏の筋肉、脂肪、肝臓及び卵)、代謝物M10 (泌乳山羊の腎臓)、代謝物M13 (産卵鶏の卵) 及び代謝物M19 (産卵鶏の肝臓) であった。

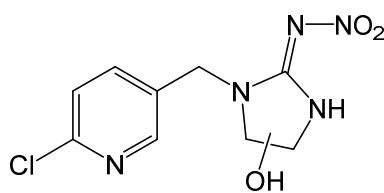
また、動物用医薬品の対象動物であるタイセイヨウサケで代謝試験が実施されており、可食部の皮膚付き筋肉において、親化合物の残留が認められている。10%TRR以上残留する代謝物は認められなかった。

【代謝物略称一覧】

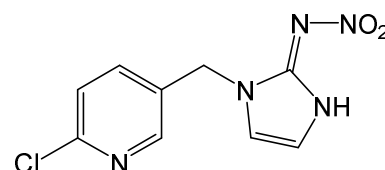
略称	JMPR評価書の略称	化学名
M01	M09 denitro compound	1-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)イミダゾ リジン-2-イリデンアミン
M02	M01、M02 5-hydroxy compound 4-hydroxy compound	3-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-2-ニトロ イミノ-5-イミダゾリジノール 又は 3-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-2-ニトロ イミノ-4-イミダゾリジノール
M03	M06 olefin	1-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)- <i>N</i> -ニトロ (イミダゾリン-2-イリデン)アミン
M04	M07 nitrosimine	1-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)- <i>N</i> -ニトロ ソ (イミダゾリジン-2-イリデン)アミン
M06	M14 6-CNA	6-クロロニコチン酸
M08	M18 6-hydroxynicotinic acid	6-ヒドロキシニコチン酸
M10	M15 6-CNA-glycine	<i>N</i> -(6-クロロニコチノイル)グリシン
M13	M11 nitroguanidine	1-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-2-ニトロ グアニジン
M14	M29 CHMP glucoside	6-クロロ-3-ピリジルメチルグリコシド
M19	M10 guanidine compound	<i>N</i> -(6-クロロピリジン-3-イルメチル)グア ニジン



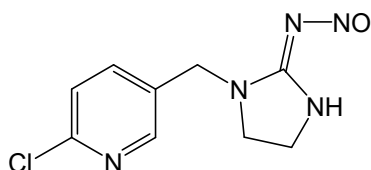
代謝物M01



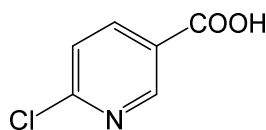
代謝物M02



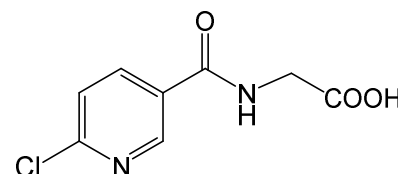
代謝物M03



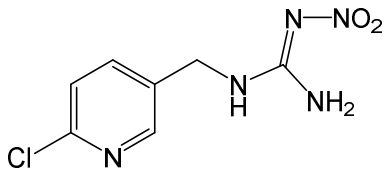
代謝物M04



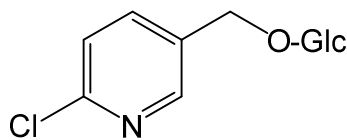
代謝物M06



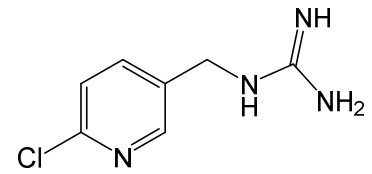
代謝物M10



代謝物M13



代謝物M14



代謝物M19

注) 残留試験の分析対象、残留の規制対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・イミダクロプリド
- ・総イミダクロプリド (イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物)
- ・代謝物M01
- ・代謝物M04

② 分析法の概要

i) イミダクロプリド

試料からアセトニトリル又はアセトニトリル・水 (9:1) 又は (4:1) 混液で抽出し減圧濃縮後、塩化ナトリウム溶液及び *n*-ヘキサンを加えて振とうする。ヘキサン層を廃棄し、水層にジクロロメタン又は酢酸エチルを加えて転溶する。分取したジクロロメタン層もしくは酢酸エチル層を炭酸カリウム溶液で洗浄し、濃縮後、シリカゲルカラムを用いて精製した後、紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ (HPLC-UV) で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し減圧濃縮後、塩化ナトリウム溶液及びジクロロメタンを加えてジクロロメタンに転溶する。分取したジクロロメタン層を濃縮後、シリカゲルカラムを用いて精製した後、HPLC-UV で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し減圧濃縮後、オクタデシルシリル化シリカゲル (C₁₈) カラムを用いて精製する。溶出液 (ジクロロメタン) を炭酸カリウム溶液で洗浄し、濃縮後、HPLC-UV で定量する。

または、試料からアセトニトリル又はアセトニトリル・水 (9:1) 又は (4:1) 混液で抽出し、また、アセトンで抽出し減圧濃縮後、多孔性ケイソウ土カラムを用いて精製し、次いでシリカゲルカラム、グラファイトカーボンカラム、アミノプロピルシリル化シリカゲル (NH₂) カラム、フロリジルカラムまたは中性アルミナカラムのいずれか、もしくは組み合わせて精製し、HPLC-UV もしくは液体クロ

マトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し減圧濃縮後、 C_{18} カラムを用いて精製、次いで多孔性ケイソウ土カラム、シリカゲルカラム、グラファイトカーボンカラムを用いて精製し、HPLC-UV で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し減圧濃縮後、グラファイトカーボンカラム及び NH_2 カラム、またはグラファイトカーボン/エチレンジアミン-*N*-プロピルシリル化シリカゲル (PSA) 積層カラム及びスチレンジビニルベンゼン共重合体カラム (PLS-2) カラム、または C_{18} カラム及びグラファイトカーボン/ NH_2 積層カラム、もしくはポリマー (ポリメタクリレート、ポリビニルアルコール等) 系カラム及びシリカゲルカラムを用いて精製し、LC-MS/MS で定量する。

または、試料からメタノール・水 (4 : 1) 混液で磨砕抽出後濃縮し、LC-MS/MS で定量する。

または、試料からアセトンで磨砕抽出後濃縮し、5%塩化ナトリウム水溶液で溶解し、*n*-ヘキサンで洗浄、酢酸エチルに転溶する。濃縮液を LC-MS/MS で定量する。

あるいは、試料からアセトンで抽出し減圧濃縮後、多孔性ケイソウ土カラム及びシリカゲルカラムを用いて精製し、液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) で定量する。

定量限界 : 0.005~0.2 mg/kg

ii) イミダクロプリド及び総イミダクロプリド (イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物)

イミダクロプリドは、磨砕均一化した試料からメタノール・水・10%硫酸水溶液 ((75 : 25 : 2) 又は (45 : 15 : 2)) 混液を加えて抽出し、多孔性ケイソウ土カラムあるいは C_{18} カラムを用いて精製後、LC-MS/MS で定量する。

また、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物は、磨砕均一化した試料をメタノール・水・10%硫酸水溶液 ((75 : 25 : 2) 又は (45 : 15 : 2)) 混液を加えて抽出する。溶媒留去後、アルカリ条件下で過マンガン酸カリウムを加えて、加熱還流操作で酸化することにより6-クロロニコチン酸に変換する。放冷後、反応液に硫酸を加えて酸性とし、亜硫酸水素ナトリウムを加えて過剰の過マンガン酸カリウムを消失させる。酢酸エチル転溶し、脱水後に LC-MS/MS で定量する。なお、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物の分析値は、換算係数 1.623 を用いて総イミダクロプリド濃度として示した。

定量限界 : イミダクロプリド 0.01 mg/kg

総イミダクロプリド 0.05 mg/kg

iii) 総イミダクロプリド

磨砕均一化した試料からメタノール・水 (3 : 1) 混液を加えて抽出する。溶媒留

去後、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラムで精製し、メタノールで抽出する。溶媒留去後、アルカリ条件下で過マンガン酸カリウムを加えて加熱還流操作で酸化することにより、6-クロロニコチン酸に変換する。放冷後、反応液に硫酸を加えて酸性とし、亜硫酸水素ナトリウムを加えて過剰の過マンガン酸カリウムを消失させる。ジエチルエーテル転溶し、脱水濃縮後の残留物をアセトニトリルに溶解する。この液の一部をとり、*N*-メチル-*N*-トリメチルシリルトリフルオロアセトアミド (MSTFA) を加えてトリメチルシリル化し、ガスクロマトグラフ・質量分析計 (GC-MS) で定量する。なお、分析値は、換算係数 1.623 を用いて総イミダクロピリド濃度として示した。

定量限界：総イミダクロピリド 0.05 mg/kg

v) 代謝物M01 (脱ニトロ体)

試料から水・アセトニトリル (1:4) 又は (3:7) 混液で抽出し、シクロヘキサン又は*n*-ヘキサン及びジクロロメタン及びジクロロメタンで洗浄し、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラム、カルボキシエチルシリル化シリカゲル (CBA) カラム及び多孔性ケイソウ土カラムで精製又はジクロロメタン・アセトニトリル (9:1) 混液に分配し、CBAカラムを用いて精製した後、HPLC-UVで定量する。

または、試料を水で膨潤後、アセトニトリルで抽出し、 C_{18} カラムを用いて精製する。茶の浸出液については、アセトン及び飽和酢酸鉛溶液を加えて濾過する。それぞれジクロロメタンで洗浄する。ジクロロメタン・アセトニトリル (9:1) 混液に分配し、炭酸カリウム溶液で洗浄後、CBAカラムを用いて精製した後、HPLC-UVで定量する。なお、代謝物M01の分析値は、換算係数1.213を用いてイミダクロピリド濃度に換算した値として示した。

定量限界：代謝物M01 0.006 mg/kg (イミダクロピリド換算濃度)

iv) 代謝物M04 (還元体)

試料から水・アセトニトリル (1:4) 又は (3:7) 混液で抽出し、シクロヘキサン又は*n*-ヘキサンで洗浄する。ジクロロメタンに転溶した後、炭酸カリウム溶液で洗浄し、シリカゲルカラムを用いて精製した後、HPLC-UVで定量する。

または、試料を水で膨潤後、アセトニトリルで抽出し、 C_{18} カラムを用いて精製する。茶の浸出液については、アセトンおよび飽和酢酸鉛溶液を加えて濾過する。それぞれジクロロメタンに転溶し、炭酸カリウム溶液で洗浄後、シリカゲルカラムを用いて精製した後、HPLC-UVで定量する。なお、代謝物M04の分析値は、換算係数 1.067を用いてイミダクロピリド濃度に換算した値として示した。

定量限界：代謝物M04 0.005 mg/kg (イミダクロピリド換算濃度)

【海外（米国）】

① 分析対象物質

- ・総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）

② 分析法の概要

i) 総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）

試料からメタノール・水（3：1）混液又はメタノール・1%硫酸水溶液（3：1）混液で抽出し、*n*-ヘキサンで洗浄した後、ろ過する。必要に応じてスチレンジビニルベンゼン共重合体カラムを用いて精製した後、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物をアルカリ条件下で過マンガン酸カリウムを加えて加熱還流操作で酸化することにより代謝物M06に酸化分解し、*tert*-ブチルメチルエーテル（MTBE）又は酢酸エチルで抽出する。MSTFAで誘導体化した後、GC-MS又はLC-MS/MSで定量する。なお、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物の分析値は、換算係数1.623を用いて総イミダクロプリド濃度として示した。

定量限界：総イミダクロプリド 0.01～0.14 mg/kg

【海外（EU）】

① 分析対象物質

- ・イミダクロプリド
- ・総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）

② 分析法の概要

i) イミダクロプリド

試料からメタノール・水（3：1）混液で抽出し、多孔性ケイソウ土カラムを用いて精製し、LC-MS/MSで定量する。

ii) 総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）

試料からメタノール・水（3：1）混液で抽出し、32%（w/v）水酸化ナトリウム溶液及び5%（w/v）過マンガン酸カリウム溶液を加え、加温下で還流し、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物を代謝物M06に変換後、MTBEで抽出し、LC-MS/MSで定量する。

なお、代謝物M06の分析値は、換算係数1.623を用いて総イミダクロプリド濃度に換算した値として示した。

定量限界：イミダクロプリド 0.01 mg/kg

総イミダクロプリド 0.05 mg/kg

(2) 作物残留試験結果

国内作物残留試験については、なんてん、ほうれんそう等の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2-1に示す。海外作物残留試験については、キャベツ、ブロッコリー等の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2-2及び2-3に示す。

5. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

- ・イミダクロプリド
- ・代謝物M06 (イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物) (総イミダクロプリド)

② 分析法の概要

i) イミダクロプリド及び代謝物M06 (イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物) (総イミダクロプリド)

試料からメタノール・水 (3:1) 混液 (乳はメタノール) で抽出する。油脂 (脂肪) を含む試料については、*n*-ヘキサンに分配する。筋肉、肝臓及び腎臓については、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラムで精製する。イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物をアルカリ性過マンガン酸カリウム溶液で代謝物M06に酸化分解し、MTBEで抽出する。MSTFAで誘導体化した後、GC-MSで定量する。なお、代謝物M06の分析値は、換算係数1.623を用いて総イミダクロプリド濃度に換算した値として示した。

定量限界：総イミダクロプリド 0.02 mg/kg

(2) 家畜残留試験 (動物飼養試験)

① 乳牛を用いた残留試験

乳牛 (ホルスタイン種、体重550~650 kg、雌3頭/時点) に対して、飼料中濃度として5、15及び50 ppmに相当する量のイミダクロプリドを含むゼラチンカプセルを28日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物を代謝物M06の濃度とし、GC-MSで測定した。また、乳については、投与開始後1、2、3、4、5、7、10、13、16、19、22、25及び28日目に搾乳したものをGC-MSで測定した。結果は表1を参照。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度* (mg/kg)

	5 ppm 投与群	15 ppm 投与群	50 ppm 投与群
筋肉	<0.02 (最大)	0.033 (最大)	0.150 (最大)
	<0.02 (平均)	0.027 (平均)	0.121 (平均)
脂肪	<0.02 (最大)	<0.02 (最大)	0.078 (最大)
	<0.02 (平均)	<0.02 (平均)	0.064 (平均)
肝臓	0.054 (最大)	0.166 (最大)	0.537 (最大)
	0.050 (平均)	0.133 (平均)	0.490 (平均)
腎臓	0.032 (最大)	0.101 (最大)	0.365 (最大)
	0.028 (平均)	0.085 (平均)	0.286 (平均)
乳 ^{注)}	<0.02 (平均)	0.041 (平均)	0.154 (平均)

定量限界：0.02 mg/kg

注) 投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、その平均値を求めた。

*：イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物（総イミダクロプリド）

② 産卵鶏を用いた残留試験

産卵鶏（レグホン種、体重未測定、雌12羽）に対して、飼料中濃度として2、6及び20 ppm相当のイミダクロプリドを含む飼料を30～32日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪及び肝臓中のイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物を代謝物M06の濃度とし、GC-MSで測定した。また、卵については、投与開始後1、2、3、5、6、7、8、9、12、13、15、17、18、19、21、24、25、27、29及び31日目に採卵したものをGC-MSで測定した。結果は表2を参照。

表2. 産卵鶏の試料中の残留濃度* (mg/kg)

	2 ppm 投与群	6 ppm 投与群	20 ppm 投与群
筋肉	<0.02 (最大)	0.021 (最大)	0.072 (最大)
	<0.02 (平均)	0.021 (平均)	0.048 (平均)
脂肪	<0.02 (最大)	<0.02 (最大)	<0.02 (最大)
	<0.02 (平均)	<0.02 (平均)	<0.02 (平均)
肝臓	0.042 (最大)	0.159 (最大)	0.431 (最大)
	0.040 (平均)	0.141 (平均)	0.346 (平均)
卵	<0.02 (平均)	0.049 (平均)	0.130 (平均)

定量限界：筋肉 0.02 mg/kg、脂肪 0.02 mg/kg 及び卵 0.02 mg/kg

*：イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物（総イミダクロプリド）

(3) 飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省令第35号）に定める飼料一般の成分規格や飼料となる作物の残留試験成績等を基に、飼料の最大給与割合等

を考慮して最大飼料由来負荷^{注1)}が算出されている。今般、新たに算出された最大飼料由来負荷は、乳牛において7.57 ppm、肉牛において8.06 ppm、産卵鶏において2.40 ppm、肉用鶏において2.72 ppmと示されている。また、平均的飼料由来負荷^{注2)}は、乳牛において7.57 ppm、肉牛において7.61 ppm、産卵鶏において2.40 ppm、肉用鶏において2.72 ppmと示されている。

これに関連して、JMPRにおいては、は肉牛及び乳牛の最大飼料由来負荷をいずれも18.01 ppm、平均的飼料由来負荷をそれぞれ6.07及び6.14 ppmと評価している。産卵鶏においては、最大飼料由来負荷を1.02 ppm、平均的飼料由来負荷を0.37 ppmと評価している。

また、米国は、乳牛及び肉牛の最大理論的飼料由来負荷^{注3)}をそれぞれ20.8及び18.2 ppmと評価している。

注1) 最大飼料由来負荷 (Maximum dietary burden) : 飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2) 平均的飼料由来負荷 (Mean dietary burden) : 飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に (作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる)、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる平均濃度。飼料中濃度として表示される。

注3) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum theoretical dietary burden) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

(4) 推定残留濃度

牛について、最大理論的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。推定残留濃度はイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物を総イミダクロプリドに換算した濃度で示した。結果は表3-1を参照。

表3-1. 畜産物中の推定残留濃度：牛 (mg/kg) (米国)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.052 (0.043)	0.030 (<0.027)	0.227 (0.192)	0.145 (0.118)	0.060 (0.060)

上段：最大残留濃度* 下段括弧内：平均的な残留濃度*

*：最大及び平均的な残留濃度は、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物 (総イミダクロプリド)

鶏について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。推定残留濃度はイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物を総イミダクロプリドに換算した濃度で示した。結果は表3-2を参照。

表3-2. 畜産物中の推定残留濃度：鶏 (mg/kg) (国内)

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
鶏	0.020 (0.020)	<0.020 (<0.020)	0.063 (0.058)	0.023 (0.023)

上段：最大残留濃度* 下段括弧内：平均的な残留濃度*

*：最大及び平均的な残留濃度は、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物（総イミダクロプリド）

6. 動物用医薬品の対象動物における残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

- ・イミダクロプリド

② 分析法の概要

試料からメタノールで抽出した後、SPE (Solid Phase Extraction) を用いて精製し、窒素ガスで溶媒を留去した後、アセトニトリル・水 (1:1) 混液で溶解し、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.004 mg/kg

(2) 家畜残留試験

- ① タイセイヨウサケ (水温7°C又は15°C飼育、平均体重576.93 g (7°C)、383.47 g (15°C)、5尾/時点、水温当たり2タンク) にイミダクロプリドを有効成分とする薬浴剤で60分間薬浴 (20 mg/L (海水)) し、水温7°C飼育においては薬浴1、7、21、35及び60日後に、水温15°C飼育においては薬浴1、7、14、21及び28日後にそれぞれ採取した筋肉、皮膚、皮膚つき筋肉及び肝臓におけるイミダクロプリド濃度をLC-MS/MSで測定した (表4及び5)。(企業提出資料、2025年)

表4. タイセイヨウサケを水温7℃飼育、イミダクロプリド薬浴剤で60分間薬浴後の組織中のイミダクロプリドの濃度 (mg/kg)

	薬浴後日数				
	1	7	21	35	60
筋肉	0.141 (5)	0.0633 (5)	0.0132 (5)	<0.004 (2), 0.00473, 0.00547, 0.00586	<0.004 (5)
	0.119 (5)	0.0648 (5)	0.0107 (5)	<0.004 (2), 0.00401, 0.00521, 0.00594	<0.004 (5)
皮膚	0.0966 (5)	0.0476 (5)	0.0101 (5)	<0.004 (2), 0.00404, 0.00422, 0.00436	<0.004 (5)
	0.0924 (5)	0.0496 (5)	0.00805 (5)	<0.004 (4), 0.00480	<0.004 (5)
皮膚つき 筋肉	0.135 (5)	0.0599 (5)	0.0127 (5)	<0.004 (2), 0.00496, 0.00557, 0.00651	<0.004 (5)
	0.112 (5)	0.0625 (5)	0.0108 (5)	<0.004 (2), 0.00422, 0.00475, 0.00569	<0.004 (5)
肝臓	0.305 (5)	0.126 (5)	0.0280 (5)	0.0123 (5)	<0.004 (5)
	0.272 (5)	0.139 (5)	0.0205 (5)	0.00860 (5)	<0.004 (5)

数値は平均値を示し、括弧内は検体数を示す。

なお、全ての検体において分析値が定量されている場合のみ、平均値を算出した。

定量限界：0.004 mg/kg

表5. タイセイヨウサケを水温15℃飼育、イミダクロプリド薬浴剤で60分間薬浴後の組織中のイミダクロプリドの濃度 (mg/kg)

	薬浴後日数				
	1	7	14	21	28
筋肉	0.325 (5)	0.0495 (5)	0.00594 (5)	<0.004 (5)	<0.004 (5)
	0.290 (5)	0.0465 (5)	0.00668 (5)	<0.004 (5)	<0.004 (5)
皮膚	0.251 (5)	0.0370 (5)	<0.004 (1), 0.00386, 0.00391, 0.00529, 0.00611	<0.004 (5)	<0.004 (5)
	0.247 (5)	0.0354 (5)	<0.004 (1), 0.00390, 0.00435, 0.00490, 0.00761	<0.004 (5)	<0.004 (5)
皮膚つき 筋肉	0.318 (5)	0.0520 (5)	0.00592 (5)	<0.004 (5)	<0.004 (5)
	0.286 (5)	0.0480 (5)	0.00666 (5)	<0.004 (5)	<0.004 (5)
肝臓	0.720 (5)	0.0905 (5)	0.00916 (5)	<0.004 (5)	<0.004 (5)
	0.647 (5)	0.0879 (5)	0.0120 (5)	<0.004 (5)	<0.004 (5)

数値は平均値を示し、括弧内は検体数を示す。

なお、全ての検体において分析値が定量されている場合のみ、平均値を算出した。

定量限界：0.004 mg/kg

② タイセイヨウサケ（体重1.19～4.04 kg、水温5.2～14.5℃、5尾/時点）及びニジマス（体重1.568～2.319 kg、水温12.9～16.0℃、5尾/時点）にイミダクロプリドを有効成分とする薬浴剤で60分間薬浴（20 mg/L（海水））し、タイセイヨウサケにおいては薬浴直後（0度日）、24時間後（10度日）、5（52度日）、10（99度日）、21日（211度日）後及び350度日後に8施設各2生けすから、ニジマスにおいては薬浴直後（0度日）、24時間後（15度日）、5（79度日）、10（152度日）、21日（294度日）後及び350度日後に4施設のうち、1施設3生けす、3施設2生けすから、それぞれ採取した皮膚つき筋肉及び肝臓におけるイミダクロプリド濃度をLC-MS/MSで測定した（表6及び7）。（企業提出資料、2025年）

表6. タイセイヨウサケをイミダクロプリド薬浴剤で60分間薬浴後の皮膚付き筋肉のイミダクロプリドの濃度（mg/kg）

施設- 生けす No.	薬浴後経過					
	直後 0度日	24時間 10度日	5日 52度日	10日 99度日	21日 211度日	350度日 350度日
1-1	0.090 (5)	ND	0.059 (5)	0.048 (5)	0.013 (5)	<LOQ (5)
1-2	ND	ND	ND	0.051 (5)	0.007 (5)	<LOQ (5)
2-1	0.073 (5)	0.111 (5)	0.122 (5)	0.063 (5)	0.036 (5)	0.003* (5)
2-2	0.062 (5)	0.105 (5)	0.051 (5)	0.047 (5)	0.027 (5)	<LOQ (5)
3-1	0.122 (5)	0.240 (5)	0.177 (5)	0.134 (5)	0.033 (5)	<LOQ (5)
3-2	0.143 (5)	0.282 (5)	0.183 (5)	0.144 (5)	0.047 (5)	<LOQ (5)
4-1	0.101 (5)	0.251 (5)	0.184 (5)	0.057 (5)	0.020 (5)	<LOQ (5)
4-2	0.087 (5)	0.142 (5)	0.180 (5)	0.135 (5)	0.022 (5)	<LOQ (5)
5-1	0.100 (5)	0.222 (5)	0.134 (5)	0.052 (5)	0.006 (5)	<LOQ (5)
5-2	0.087 (5)	0.127 (5)	0.106 (5)	0.035 (5)	0.010 (5)	<LOQ (5)
6-1	0.150 (5)	0.164 (5)	0.119 (5)	0.024 (5)	0.011 (5)	<LOQ (3)*
6-2	0.107 (5)	0.172 (5)	0.077 (5)	0.033 (5)	0.006* (5)	<LOQ (3)*
7-1	0.103 (5)	0.133 (5)	0.092 (5)	0.028 (5)	<LOQ (3)*	<LOQ (5)
7-2	0.072 (5)	0.272 (5)	0.120 (5)	0.048 (5)	0.008* (5)	<LOQ (3)*
8-1	0.131 (5)	0.291 (5)	0.183 (5)	0.025 (5)	0.004* (5)	ND
8-2	0.154 (5)	0.300 (5)	0.134 (5)	0.024 (5)	0.004* (5)	ND

数値は平均値を示し、括弧内は検体数を示す。

なお、全ての検体において分析値が定量されている場合のみ、平均値を算出した。

ND：データなし

*：定量限界値及び定量限界未満を含む（定量限界未満は定量限界の1/2とし、0.002 mg/kgと計算）。

定量限界：0.004 mg/kg

表7. ニジマスをイミダクロプリド薬浴剤で60分間薬浴後の皮膚付き筋肉のイミダクロプリドの濃度 (mg/kg)

施設- 生けす No.	薬浴後経過					
	直後	24時間	5日	10日	21日	350度日
	0度日	15度日	79度日	152度日	294度日	350度日
1-1	0.082 (5)	0.139 (5)	0.022 (5)	0.004* (5)	0.006* (5)	<LOQ (5)
1-2	0.373 (5)	0.292 (5)	0.068 (5)	0.010 (5)	<LOQ (5)	<LOQ (5)
1-3	0.143 (5)	0.196 (5)	0.048 (5)	0.008 (5)	<LOQ (5)	<LOQ (5)
2-1	0.255 (5)	0.257 (5)	0.069 (5)	0.008* (5)	<LOQ (5)	<LOQ (5)
2-2	0.285 (5)	0.197 (5)	0.054 (5)	0.005* (5)	<LOQ (5)	<LOQ (5)
3-1	0.173 (5)	0.270 (5)	0.036 (5)	<LOQ (5)	<LOQ (5)	<LOQ (5)
3-2	0.268 (5)	0.269 (5)	0.029 (5)	ND	<LOQ (5)	<LOQ (5)
4-1	0.175 (5)	0.231 (5)	0.051 (5)	0.015 (5)	<LOQ (3)*	<LOQ (5)
4-2	0.207 (5)	0.210 (5)	0.067 (5)	0.016* (5)	<LOQ (3)*	<LOQ (5)

数値は平均値を示し、括弧内は検体数を示す。

なお、全ての検体において分析値が定量されている場合のみ、平均値を算出した。

ND：データなし

*：定量限界値及び定量限界未満を含む（定量限界未満は定量限界の1/2とし、0.002 mg/kgと計算）。

定量限界：0.004 mg/kg

- ③ タイセイヨウサケ (408.8 g (±2.70 g)、約1歳、6匹/時点 (1タンク)、2タンク/時点) を、イミダクロプリドを有効成分とする薬浴剤で15.2～16.0℃で60、196、360分間薬浴 (20.9～21.8 mg/L) し、薬浴1 (15.6度日)、7 (1081.8度日)、14 (206.8度日)、21 (313.2度日)、28 (422.1度日) 及び33日 (508.6度日) 後に採取した皮膚付き筋肉におけるイミダクロプリド濃度をLC-MS/MSで測定した (表8)。(JECFA Monographs 28、2023年)

表8. ニジマスを用いたイミダクロプリド薬浴剤で60、196、360分間薬浴後の皮膚付き筋肉のイミダクロプリドの濃度 (mg/kg)

薬浴 時間 (分)	薬浴後経過					
	1日	7日	14日	21日	28日	33日
	15.6度日	108.8度日	206.8度日	313.2度日	422.1度日	508.6度日
60	0.359± 0.063 (12)	0.071±0.015 (12)	0.01273± 0.00381 (12)	<LOQ (12)	<LOQ (12)	<LOQ (12)
196	0.740±0.083 (12)	0.160±0.024 (12)	0.02745± 0.00987 (12)	0.00629± 0.00228 (12)	<LOQ (12)	<LOQ (12)
360	1.372±0.114 (12)	0.296±0.056 (12)	0.05473± 0.01590 (12)	0.00957± 0.00370 (12)	0.00268± 0.00164* (12)	<LOQ (12)

数値は平均値±標準偏差を示し、括弧内は検体数を示す。

なお、全ての検体において分析値が定量されている場合のみ、平均値を算出した。

*：定量限界未満を含む（定量限界未満は定量限界の1/2とし、0.002 mg/kgと計算）。

定量限界：0.004 mg/kg

JECFAにおいては、野外条件下では、60分経過後すぐにすべての魚を処理槽から取り出すことが難しい場合があることから、上記試験における最長処理時間360分、休薬期間98度日における95%片側上限 ((95%信頼限界) から基準値0.6 mg/kg) が設定され、中央値として0.340 mg/kg^{注)} を算出した。

注) JECFAの暴露評価の中央値0.486 mg/kgに総残留比0.7を乗じて、イミダプロクリドの中央値を算出した。

7. 許容一日摂取量 (ADI) 及び急性参照用量 (ARfD) の評価

食品安全基本法 (平成15年法律第48号) 第24条第1項第1号の規定に基づき、厚生労働大臣から食品安全委員会あて意見を求めたイミダクロプリドに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

ADI : 0.057 mg/kg体重/日

(ADI 設定根拠資料) 慢性毒性/発がん性併合試験

(動物種) ラット

(期間) 2年間

(投与方法) 混餌

(無毒性量) 5.7 mg/kg体重/日

(安全係数) : 100

なお、食品安全委員会は、発がん性は認められなかったと評価している。

(2) ARfD

ARfD : 0.077 mg/kg体重

(ARfD 設定根拠資料) 亜急性毒性試験

(動物種) イヌ

(期間) 90日間

(投与方法) 混餌

(無毒性量) 7.7 mg/kg体重/日

(安全係数) 100

8. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2001年にADI及びARfDが設定されている。国際基準はりんご、バナナ等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてりんご、かんきつ類等に、カナダにおいてにんじん、ラズベリー等に、EUにおいてかんきつ類、ぶどう等に、豪州においてりんご、かんきつ類等に、ニュージーランドにおいてぶどう、レタス等に基準値が設定されている。

また、JECFAにおける毒性評価がなされ、2024年にADI及びARfDが設定されている。国際基準は全ての魚類に設定されている。

9. 残留規制

(1) 残留の規制対象

農産物、はちみつ及び魚類にあつては、イミダクロプリドとし、畜産物にあつては、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物とする。

植物代謝試験において主な残留物は親化合物であり、作物残留試験においても、親化合物の残留が認められており、分析の指標としては親化合物のみで十分であると考えられることから、農産物の規制対象をイミダクロプリドのみとする。

畜産物については、家畜代謝試験において、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物M01、代謝物M02、代謝物M03、代謝物M10、代謝物M13及び代謝物M19であった。これらの代謝物はいずれも6-クロロピリジル基を有する代謝物であり、家畜残留試験においてイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物が分析の対象物質とされていること、親化合物及び代謝物をまとめて代謝物M06に変換していることから6-クロロピリジル基を有する代謝物を含めたものを対象とし、畜産物の規制対象については、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物とする。また、魚類においては、動物用医薬品の対象動物であるタイセイヨウサケで代謝試験が実施されており、可食部の皮膚付き筋肉において、親化合物の残留が認められており、10%TRR以上残留する代謝物は認められなかったことから、イミダクロプリドのみを規制対象とする。

なお、JMPRの評価では規制対象を、農産物及び畜産物にあつては、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物としている。また、JECFAの評価では規制対象を、魚類においてイミダクロプリドのみとしている。

(2) 基準値案

別紙3のとおりである。

10. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

農産物及び畜産物にあつては、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物とし、魚類にあつては、イミダクロプリドとする。

植物代謝試験においては、可食部又は家畜用の飼料として利用される部位において10%TRR以上認められた代謝物として、代謝物M01、代謝物M03、代謝物M06及び代謝物M14であった。また、家畜代謝試験においては、代謝物M01、代謝物M02（グルクロン酸抱合体を含む。）、代謝物M03、代謝物M10、代謝物M13及び代謝物M19が10%TRR以上認められた。食品安全委員会の評価において、代謝物M01は急性経口毒性がイミダクロプリドより強く、作物残留試験において、イミダクロプリドより高い残留値が認められる場合があること、代謝物M01、代謝物M02、代謝物M03、代謝物M06、代謝物M10、代謝物M13、代謝物M14及び代謝物M19はいずれも6-クロロピリジル基を有する代謝物であり、海外の作物

残留試験及び家畜残留試験において、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物が分析の対象とされていること、さらに、JMPRの評価において、暴露評価対象をイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物としていることも鑑み、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物とする。魚類においては、動物用医薬品の対象動物であるタイセイヨウサケの代謝試験において、10%TRR以上残留する代謝物は認められなかったことから、暴露評価対象物質はイミダクロプリドのみとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物、また、水産物中の暴露評価対象物質をイミダクロプリド（親化合物のみ）と設定している。

（2）暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙4参照。

	EDI/ADI (%) ^{注)}
国民全体(1歳以上)	20.0
幼小児(1～6歳)	33.7
妊婦	15.3
高齢者(65歳以上)	23.1

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

② 短期（1日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量(ESTI)を算出したところ、国民全体（1歳以上）及び幼小児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量はARFDを超えていない^{注)}。詳細な暴露評価は別紙5-1及び5-2参照。

注) 基準値案、暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
稲	1.0% GR	散布	3 kg/10 a	収穫7日前まで	—	2回以内	3回以内(は種時(直播)又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)
	2.0% GR 配合剤1	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.050% GR 配合剤2	側条施用	40~50 kg/10 a	移植時	—	1回	
稲(箱育苗)	50.0% WG	灌注	250~1000倍	移植2日前~移植当日	育苗箱(30×60×3 cm、使用 土壌約5 L)1箱当たり0.5 L	1回	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)
			250~500倍				
	10.0% WP	灌注	100倍	移植2日前~移植当日	育苗箱(30×60×3 cm、使用 土壌約5 L)1箱当たり0.5 L	1回	
	1.95% GR	育苗箱の上から均一に 散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗 箱(30×60×3 cm、使 用土壌約5 L)1箱当 たり50~100 g)	は種時(覆土前)~移植当 日	—	1回	
				移植2日前~移植当日			
				移植当日			
				は種時(覆土前)~移植当 日			
	10.0% SC 配合剤3	灌注	100倍	移植2日前~移植当日	育苗箱(30×60×3 cm、使用 土壌約5 L)1箱当たり0.5 L	1回	
				移植3日前~移植当日			
	2.0% GR 配合剤1	育苗箱の苗の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗 箱(30×60×3 cm、使 用土壌約5 L)1箱当 たり50~100 g)	移植2日前~移植当日	—	1回	
				育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g			
	2.0% GR 配合剤4	育苗箱の床土又は覆土 に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	は種前	—	1回	
		育苗箱の上から均一に 散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	は種時(覆土前)	—	1回	
は種時(覆土前)~移植当 日							
2.0% GR 配合剤5	育苗箱の床土又は覆土 に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	は種前	—	1回		
	育苗箱の上から均一に 散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗 箱(30×60×3 cm、使 用土壌約5 L)1箱当 たり50~100 g)	移植3日前~移植当日	—	1回		
			移植当日				
			は種時(覆土前)~移植当 日				
育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	移植当日						

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数	
稲(箱育苗)	2.0% GR 配合剤6	育苗箱の上から均一に 散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗 箱(30×60×3 cm、使 用土壌約5 L)1箱当た り50～80 g)	移植2日前～当日	-	1回	3回以内(移植時までの処理は1 回以内、本田での散布は2回以 内)	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g					
	2.0% GR 配合剤7	育苗箱の苗の上から均 一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	移植2日前～移植当日	-	1回		
			2.0% GR 配合剤8	育苗箱の床土又は覆土 に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	は種前		-
	育苗箱の上から均一に 散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗 箱(30×60×3 cm、使 用土壌約5 L)1箱当た り50～100 g)			は種時(覆土前)	-		1回
					は種時(覆土前)～移植当 日			
					移植2日前～移植当日			
					移植当日			
	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	は種時(覆土前)			-	1回		
		は種時(覆土前)～移植当 日						
	移植2日前～移植当日	移植当日						
	2.0% GR 配合剤9	育苗箱の上から均一に 散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗 箱(30×60×3 cm、使 用土壌約5 L)1箱当た り50～100 g)	移植3日前～移植当日	-	1回		
				移植当日				
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	は種時(覆土前)～移植当 日				
移植当日								
2.0% GR 配合剤10	育苗箱の上から均一に 散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	移植2日前～移植当日	-	1回			
			移植当日					
2.0% GR 配合剤11	育苗箱中の苗の上から 均一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗 箱(30×60×3 cm、使 用土壌約5 L)1箱当た り50～100 g)	移植2日前～移植当日	-	1回			
			移植当日					
		育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	移植2日前～移植当日					
			移植当日					

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数		
稲(箱育苗)	2.0% GR 配合剤12	育苗箱の床土に均一に 混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	は種前	—	1回	3回以内(移植時までの処理は1 回以内、本田での散布は2回以 内)		
		育苗箱の床土又は覆土 に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	は種前	—	1回			
		育苗箱の上から均一に 散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	は種時(覆土前)～移植当 日 移植当日	—	1回			
	2.0% GR 配合剤13	育苗箱の床土又は覆土 に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	は種前	—	1回			
			育苗箱の上から均一に 散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗 箱(30×60×3 cm、使 用土壌約5 L)1箱当た り50～100 g)	移植3日前～移植当日 移植当日	—		1回	
		育苗箱の上から均一に 散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g	は種時(覆土前)～移植当 日 移植当日	—	1回			
	2.0% GR 配合剤14	育苗箱の苗の上から均 一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50～80 g	移植2日前～当日	—	1回			
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1 箱当たり50 g						
	湛水直播水稻	50.0% WG	過酸化カルシウム剤と の同時湿粉衣	種もみ3 kg当たり30 ～40 g(40 g/10 aま で)	は種前	—		1回	3回以内(は種時までの処理は1 回以内、本田での散布は2回以 内)
		10.0% WP	過酸化カルシウム剤と の同時湿粉衣	種もみ3 kg当たり200 g(200 g/10 aまで)	は種前	—		1回	
種もみ3 kg当たり150 ～200 g(200 g/10 a まで)									
2.0% GR 配合剤1	は種同時施薬機を用い て土中施用する。	1 kg/10 a	は種時	—	1回				
乾田直播水稻	50.0% WG	種子塗沫 (未催芽粉)	種もみ4～8 kg当たり 30～40 g(40 g/10 a まで)	は種前	—	1回	3回以内(は種時までの処理は1 回以内、本田での散布は2回以 内)		
小麦	50.0% WG	散布	15000倍	収穫14日前まで	60～150 L/10 a	2回以内	3回以内(種子粉衣は1回以内、 散布は2回以内)		
	10.0% WP	種子粉衣	種子重量の0.15%	は種前	—	1回			
アマランサス(茎葉)	20.0% SC	散布	5000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内		
キノア	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内		
ばれいしょ	50.0% WG	散布	5000～15000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(植付時の土壌混和は1 回以内、植付後の処理は2回以 内)		
			2500倍		25 L/10 a				
		無人航空機による散布	400倍	収穫14日前まで	3.2～10 L/10 a	2回以内			
			160倍		1.6～3.2 L/10 a				
	10.0% WP	無人航空機による散布	80倍	収穫14日前まで	1.6 L/10 a	2回以内			
			1000～3000倍		100～300 L/10 a				
1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	植付時	—	1回				
さといも	50.0% WG	散布	10000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内			
			400倍		4～10 L/10 a				
		無人航空機による散布	200倍	収穫14日前まで	2～4 L/10 a	2回以内			
	80倍		1.6～2 L/10 a						
1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	植付時	—	1回				

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
さといも(葉柄)	50.0% WG	散布	10000倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	2回以内	3回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後の処理は2回以内)
		無人航空機による散布	400倍	収穫前日まで	4~10 L/10 a	2回以内	
			200倍		2~4 L/10 a		
	80倍	1.6~2 L/10 a					
	1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	植付時	—	1回	
かんしょ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100~300 L/10 a	2回以内	3回以内(植付前の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	1.0% GR	作条土壌混和	4~6 kg/10 a	植付前	—	1回	
		全面土壌混和	6 kg/10 a	植付前	—	1回	
	0.50% GR	作条土壌混和	8~12 kg/10 a	植付前	—	1回	
		全面土壌混和	8~12 kg/10 a	植付前	—	1回	
0.30% GR 配合剤15	全面土壌混和	20 kg/10 a	植付前	—	1回		
やまのいも	50.0% WG	散布	10000倍	収穫14日前まで	100~300 L/10 a	2回以内	3回以内(植付時までの処理は1回以内、植付後の処理は2回以内)
		無人航空機による散布	400倍	収穫14日前まで	4~12 L/10 a	2回以内	
	160倍		3.2~4 L/10 a				
	1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	植付時	—	1回	
やまのいも(むかご)	1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	植付時	—	1回	1回
こんにやく	50.0% WG	散布	10000倍	収穫21日前まで	100~300 L/10 a	2回以内	3回以内(培土時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	1.0% GR	茎葉散布	6 kg/10 a	生育期 ただし収穫21日前まで	—	2回以内	
			株元土壌混和	3~6 kg/10 a	培土時(基根伸長期)	—	1回
てんさい	70.0% DS	種子被覆剤に混和後、 種子にコーティングする。	130 g/ユニット:1ユニット(約100,000粒)/ha	は種前	—	1回	3回以内(種子への処理又は灌注は1回以内、散布は2回以内)
			90~130 g/ユニット:1ユニット(約100,000粒)/ha				
	50.0% WG	散布	5000~10000倍	収穫21日前まで	100~300 L/10 a	2回以内	
		灌注	300~500倍	定植時	ペーパーポット1冊当たり1 L(3 L/m ²)	1回	
300倍							
10.0% WP	灌注	60倍	定植時	ペーパーポット1冊当たり1 L(3 L/m ²)	1回		
だいこん	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100~300 L/10 a	2回以内	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、は種後の処理は2回以内)
	1.0% GR	播溝土壌混和	3~6 kg/10 a	は種時	—	1回	
かぶ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫21日前まで	100~300 L/10 a	2回以内	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	1.0% GR	播溝土壌混和	4 kg/10 a	は種時	—	1回	
はくさい	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100~300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内)
	1.0% GR	植穴土壌混和	0.5 g/株	定植時	—	1回	
	10.0% SC 配合剤3	灌注	100倍	定植3日前~定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5~4 L)当たり0.5 L	1回	
	2.0% SC 配合剤16	灌注	100倍	定植3日前~定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5~4 L)当たり0.5~1 L	1回	

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
キャベツ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内)
	1.0% GR	植穴土壌混和	0.5 g/株	定植時	—	1回	
	10.0% SC 配合剤3	灌注	100倍	定植3日前～定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又は ペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当 たり0.5 L	1回	
	2.0% SC 配合剤16	灌注	100倍	定植3日前～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又は ペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当 たり0.5～1 L	1回	
結球あぶらな科葉菜類 (メキャベツを除く)	20.0% SC	散布	2000～4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内)
		無人航空機による散布	32倍		1.6～2 L/10 a		
			150倍		4～5 L/10 a		
メキャベツ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
非結球メキャベツ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
みずな	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ブロッコリー	20.0% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	4回以内(育苗期の灌注は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、定植後の処理は2回以内)
		無人航空機による散布	80倍	収穫3日前まで	4～5 L/10 a	2回以内	
			24倍		1.6～2 L/10 a		
	1.0% GR	植穴土壌混和	0.5 g/株	定植時	—	1回	
	10.0% SC 配合剤3	灌注	100倍	定植3日前～定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又は ペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当 たり0.5 L	1回	
2.0% SC 配合剤16	灌注	100倍	定植3日前～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又は ペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当 たり0.5～1 L	1回		
なばな類	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
わさび	20.0% SC	散布	4000倍	畑育苗期	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
畑わさび	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ごぼう	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	1.0% GR	株元散布	4 kg/10 a	収穫7日前まで	—	2回以内	
		播溝土壌混和	4 kg/10 a	は種時	—	1回	
エンダイブ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
レタス	50.0% WG	散布	10000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		無人航空機による散布	150倍	収穫3日前まで	4～5 L/10 a	2回以内	
			40倍		1.6～2 L/10 a		
	1.0% GR	株元散布	0.5 g/株	育苗期後半	—	1回	
	10.0% SC 配合剤3	灌注	200倍	定植3日前～定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又は ペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当 たり0.5 L	1回	
			定植当日				
2.0% SC 配合剤16	灌注	100倍	定植3日前～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又は ペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当 たり0.5～1 L	1回		

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
非結球レタス	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
		無人航空機による散布	150倍	収穫7日前まで	4～5 L/10 a	2回以内	
			32倍		1.6～2 L/10 a		
すいぜんじな	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ふき	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ふき(ふきのとう)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫45日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
食用ぎく	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
きく(葉)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
葉ごぼう	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
たまねぎ	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内(定植時までの処理は1回以内)
		灌注	500倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり0.5 L	1回	
	20.0% SC	灌注	200倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり0.5 L	1回	
ねぎ	50.0% WG	散布	5000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時までの処理は1回以内、散布は2回以内)
		灌注	500倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり0.5 L	1回	
	20.0% SC	散布	2000～4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		灌注	200倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり0.5 L	1回	
1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	定植時	—	1回		
にら	1.0% GR	株元散布	4 kg/10 a	収穫30日前まで	—	1回	2回以内(定植時の土壌混和は1回以内、株元散布は1回以内)
		植溝土壌混和	4 kg/10 a	定植時	—	1回	
にら(花茎)	1.0% GR	株元散布	4 kg/10 a	収穫30日前まで	—	1回	2回以内(定植時の土壌混和は1回以内、株元散布は1回以内)
		植溝土壌混和	4 kg/10 a	定植時	—	1回	
アスパラガス	50.0% WG	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	20.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
わけぎ	20.0% SC	散布	2000～4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	定植時	—	1回	
あさつき	20.0% SC	散布	2000～4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	定植時	—	1回	
食用ゆり	50.0% WG	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
にんじん	50.0% WG	散布	10000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
パセリ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	1回	2回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は1回以内)
	1.0% GR	株元散布	3 kg/10 a	収穫14日前まで	—	1回	
		播溝散布	3 kg/10 a	は種時	—	1回	
		植穴土壌混和	0.5 g/株	定植時	—	1回	
0.50% GR	株元散布	1 g/株	定植時	—	1回		
セルリー	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
みつば	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで ただし、 伏せ込み栽培は伏せ込み 前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
せり科葉菜類 (コリアンダー(葉)、セ ルリー、パセリ、みつ ば、せり、はまぼうふう (葉)を除く)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
はまぼうふう(葉)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
トマト	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計1回 以内、散布は2回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.0% GR	株元散布	0.5～1 g/株	育苗期後半	—	1回	
		植穴土壌混和	1～2 g/株	定植時	—	1回	
0.50% GR	植穴土壌混和	2 g/株	定植時	—	1回		
ミニトマト	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計1回 以内、散布は2回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.0% GR	株元散布	0.5～1 g/株	育苗期後半	—	1回	
		植穴土壌混和	1～2 g/株	定植時	—	1回	
	0.50% GR	植穴土壌混和	2 g/株	定植時	—	1回	
ピーマン及びとうがらし 類	1.0% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半	—	1回	3回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計1回 以内、散布は2回以内)
		植穴又は 株元土壌混和	1～2 g/株	定植時	—	1回	
	0.50% GR	植穴土壌混和	2 g/株	定植時	—	1回	
ピーマン	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計1回 以内、散布は2回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
なす	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計1回 以内、散布及び常温煙霧は合 計2回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	10.0% WP	常温煙霧	100 g/10 a	収穫前日まで	5 L/10 a	2回以内	
		散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.0% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半	—	1回	
		植穴又は 株元土壌混和	1～2 g/株	定植時	—	1回	
	0.50% GR	株元土壌混和	2 g/株	定植時	—	1回	
植穴土壌混和		2 g/株	定植時	—	1回		
とうがらし類	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計1回 以内、散布は2回以内)
きゅうり	10.0% WP	常温煙霧	100 g/10 a	収穫前日まで	5 L/10 a	3回以内	4回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計1回 以内、散布及び常温煙霧は合 計3回以内)
	1.0% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半	—	1回	
		植穴土壌混和	2 g/株	定植時	—	1回	
		植穴又は 株元土壌混和	1～2 g/株	定植時	—	1回	
	0.50% GR	株元土壌混和	2 g/株	定植時	—	1回	
		植穴土壌混和	2 g/株	定植時	—	1回	
	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
10.0% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内		
かぼちゃ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時の土壌混和は1 回以内、散布は2回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.0% GR	植穴土壌混和	2 g/株	定植時	—	1回	

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
すいか	50.0% WG	散布	5000~10000倍	収穫3日前まで	100~300 L/10 a	3回以内	4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100~300 L/10 a	3回以内	
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫3日前まで	100~300 L/10 a	3回以内	
	1.0% GR	株元土壌混和	5 g/株	定植時	—	1回	
		植穴土壌混和	1~2 g/株	定植時	—	1回	
1~5 g/株							
メロン	50.0% WG	散布	5000~10000倍	収穫3日前まで	100~300 L/10 a	3回以内	4回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100~300 L/10 a	3回以内	
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫3日前まで	100~300 L/10 a	3回以内	
	1.0% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半	—	1回	
		植穴土壌混和	2 g/株	定植時	—	1回	
植穴又は株元土壌混和		1~2 g/株	定植時	—	1回		
まくわり	1.0% GR	植穴土壌混和	1 g/株	定植時	—	1回	1回
いがり	1.0% GR	植穴又は株元土壌混和	1~2 g/株	定植時	—	1回	2回以内(定植時の土壌混和は1回以内)
	50.0% WG	散布	10000倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	2回以内	2回以内(定植時の土壌混和は1回以内)
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	2回以内	
ほうれんそう	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100~300 L/10 a	1回	2回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は1回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100~300 L/10 a	1回	
	1.0% GR	播溝土壌混和	4 kg/10 a	は種時	—	1回	
オクラ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	3回以内	3回以内
さやいんげん	1.0% GR	植穴土壌混和	1~2 g/株(ただし、6 kg/10 aまで)	定植時又はは種時	—	1回	3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
えだまめ	1.0% GR	本剤の所定量をセル成型育苗トレイ又はペーパーポットの培土に均一に混和する。	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5~4 L)当たり50 g	は種時	—	1回	3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
		植穴土壌混和	2 g/植穴(ただし、6 kg/10 aまで)	定植時	—	1回	
		播溝土壌混和	3 kg/10 a	は種時	—	1回	
うど	20.0% SC	散布	2000倍	根株養成期 ただし、収穫60日前まで	100~300 L/10 a	3回以内	3回以内
くわい	20.0% SC	散布	4000倍	収穫21日前まで	100~300 L/10 a	3回以内	3回以内
じゅんさい	1.0% GR	散布	3 kg/10 a	収穫前日まで	—	2回以内	2回以内
ふだんそう	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100~300 L/10 a	2回以内	2回以内
モロヘイヤ	20.0% SC	散布	2000倍	収穫14日前まで	100~300 L/10 a	1回	1回
れんこん	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100~300 L/10 a	2回以内	3回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後の処理は2回以内)
				収穫14日前まで		2回以内	
	1.0% GR	植溝土壌混和	3 kg/10 a	植付時	—	1回	

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
食用かえで(葉)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
食用さくら(葉)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
食用プリムラ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
豆類(未成熟、ただし、 えだまめ、きやいんげん、 未成熟そらまめを除く)	1.0% GR	植穴土壌混和	2 g/植穴(ただし、6 kg/10 aまで)	定植時	—	1回	3回以内(定植時及びは種時の 土壌混和は合計1回以内、散布 は2回以内)
		播溝土壌混和	3 kg/10 a	は種時	—	1回	
豆類(未成熟、ただし、 未成熟そらまめを除く)	50.0% WG	散布	10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時及びは種時の 土壌混和は合計1回以内、散布 は2回以内)
未成熟ささげ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時及びは種時の 土壌混和は合計1回以内、散布 は2回以内)
未成熟そらまめ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内(定植時及びは種時の 土壌混和は合計1回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	1.0% GR	植穴土壌混和	2 g/植穴	定植時	—	1回	
		播溝土壌混和	3 kg/10 a	は種時	—	1回	
かんきつ	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			5000倍				
	20.0% SC	散布	2000～4000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
			2000～5000倍				
			2000倍				
	無人航空機による散布	80倍	40倍	収穫14日前まで	8～20 L/10 a	3回以内	
					4～10 L/10 a		
4～5 L/10 a							
りんご	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
			5000～15000倍				
			5000倍				
10.0% WP	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内		
なし	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
			5000倍				
	20.0% SC	散布	5000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	10.0% WP	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
1000倍							
びわ	20.0% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
もも	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	20.0% SC	散布	5000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	10.0% WP	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
1000倍							
ネクタリン	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	10.0% WP	散布	1000～2000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
			1000倍				
あんず	20.0% SC	散布	5000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
すもも	50.0% WG	散布	10000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
うめ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
いちご	1.0% GR	株元散布	0.5 g/株	育苗期後半	—	1回	1回
		植穴土壌混和	0.5 g/株	定植時	—	1回	
ぶどう	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
			5000倍				
	20.0% SC	散布	5000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	10.0% WP	常温煙霧	200 g/10 a	収穫21日前まで	9 L/10 a	2回以内	
散布		1000～2000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内		
1000倍							
かき	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			5000倍				
	10.0% WP	散布	1000～2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
			1000倍				
キウイフルーツ	20.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
マンゴー	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
パッションフルーツ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
アセロラ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
アテモヤ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
ビタヤ	20.0% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ごま	1.0% GR	播溝土壌混和	3 kg/10 a	は種時	—	1回	1回
いちよう (種子)	20.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
くり	10.0% WP	散布	1000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
茶	10.0% WP	散布	2000倍	摘採7日前まで	200～400 L/10 a	1回	1回
			1000～2000倍				
			1000倍				
	10.0% WG 配合剤17	散布	2000倍	摘採7日前まで	200～400 L/10 a	1回	
コリアンダー(葉)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
さんしょう(葉)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
しそ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
しそ(花穂)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
しそ科葉菜類 (しそを除く)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
みょうが (花穂)	50.0% WG	散布、ただし花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。	10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
みょうが (茎葉)	50.0% WG	散布	10000倍	みょうが(花穂)の収穫前日まで ただし、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
やなぎたで	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
なんてん(葉)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内

GR：粒剤

WP：水和剤

WG：顆粒水和剤

SC：フロアブル

DS：粉剤

配合剤1：24.0%プロベナゾール

配合剤2：0.60%プロベナゾール

配合剤3：10.0%スピノサド

配合剤4：0.75%クロラントラニプロロール・2.0%イソチアニル

配合剤5：0.75%クロラントラニプロロール・2.0%イソチアニル・2.0%ペンフルフェン

配合剤6：0.75%スピノサド・3.0%チフルザミド・4.0%トリシクラゾール

配合剤7：0.75%スピノサド・4.0%トリシクラゾール

配合剤8：1.0%スピノサド・2.0%イソチアニル

配合剤9：1.0%スピノサド・2.0%イソチアニル・2.0%ペンフルフェン

配合剤10：1.0%スピノサド・2.0%イソチアニル・3.0%チフルザミド

配合剤11：12.0%チアジニル

配合剤12：2.0%イソチアニル

配合剤13：2.0%イソチアニル・2.0%ペンフルフェン

配合剤14：4.0%トリシクラゾール

配合剤15：0.50%フルオピラム

配合剤16：4.0%フルベンジアミド

配合剤17：10.0%スピノサド

今回変更申請及び基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

—：規定されていない項目

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法 (米国)

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たり使用量	回数	イミダクロプリドの総使用量
大豆	48.7% SC	種子塗抹	—	1.6~3.2 fl oz ai/cwt	—	3.2 fl oz ai/100 lbs seeds
	40.7% SC (480 g/L)	散布	収穫21日前まで	0.05 lb ai/acre	—	0.14 lb ai/acre
豆類(種実) (いんげん、 えんどう、 そら豆、 アヤ豆等)	40.7% SC	種子塗抹	—	2~4 fl oz/cwt (0.63~1.25 lb ai/cwt)	—	—
まめ科野菜類 (さやいんげん、 さやえんどう等)	21.4% SC	畝処理	収穫21日前まで	0.25~0.38 lb ai/acre	—	0.38 lb ai/acre
	17.4% SC	散布	収穫7日前まで	0.043 lb ai/acre	—	0.13 lb ai/acre
根茎状野菜 (にんじん等) Subgroup 1B	21.4% SC	畝処理	収穫21日前まで	0.16~0.38 lb ai/acre	1回	0.38 lb ai/acre
根茎状野菜 (だいこん、にんじん等) Subgroup 1B except Sugarbeet plus Kava	17.4% SC	散布	収穫7日前まで	—	3回 (だいこんは1回)	0.13 lb ai/acre (だいこんは0.044 lb ai/acre)
ばれいしよ	21.4% SC	種いも処理	—	0.4~0.8 fl oz/cwt (0.12~0.25 lb ai/cwt)	—	0.31 lb ai/acre
		散布	—	0.2~0.31 lb ai/acre	—	
		植溝土壌処理	—		—	
		側条土壌処理	—		—	
根茎及び 球茎状野菜 (かぶ、アーチコック、 チリ、しょうが等)	21.4% SC	植溝土壌処理	収穫3日前まで(茎 葉散布) 収穫125日前まで (地下茎)	0.16~0.38 lb ai/acre	1回	0.38 lb ai/acre
		側条土壌処理				
葉菜類 (エンターグ、レタス等) Group 4A	21.4% SC	散布	収穫21日前まで	0.16~0.38 lb ai/acre	—	0.38 lb ai/acre
		土壌灌注			—	
		植溝土壌処理			—	
		側条土壌処理			—	
	2.5% GR	植溝土壌処理	収穫21日前まで	6.3~15.0 lb ai/acre	—	15.0 lb ai/acre
アブラナ属葉菜類 Group 5	21.4% SC	散布	収穫21日前まで	0.16~0.38 lb ai/acre	—	0.38 lb ai/acre
		土壌灌注			—	
		植溝土壌処理			—	
		側条土壌処理			—	
	2.5% GR	植溝土壌処理	収穫21日前まで	6.3~15.0 lb ai/acre	—	15.0 lb ai/acre
		側条土壌処理			—	

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法 (米国)

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たり使用量	回数	イミダクロプリドの総使用量
アーティチョーク	21.4% SC	土壌灌注	収穫7日前まで	0.25~0.50 lb ai/acre	—	0.5 lb ai/acre
葉柄野菜類 (セリ等) Group 4B	21.4% SC	土壌灌注	収穫45日前まで	0.16~0.38 lb ai/acre	—	0.38 lb ai/acre
		植溝土壌処理			—	
		側条土壌処理			—	
		畝処理			—	
仁果類果実 (りんご、なし、 マルメロ等)	21.4% SC	土壌灌注	収穫21日前まで	0.25~0.38 lb ai/acre	—	0.38 lb ai/acre
核果類果実 (ネクタリン、 おうとう等)	17.4% SC	散布	収穫7日前まで	0.25~0.38 lb ai/acre	—	0.38 lb ai/acre
熱帯果実類 (パパイヤ、グアバ、 パッションフルーツ等)	17.4% SC	散布	収穫7日前まで	0.1 lb ai/acre	—	0.5 lb ai/acre
ひまわり、ペニバン	40.7% SC	種子塗抹	—	0.25~0.50 mg ai/seed (0.4~0.8 oz/cwt)	—	—
綿	21.4% SC	散布	—	0.28~0.33 lb ai/acre	—	0.33 lb ai/acre
		土壌灌注	—		—	
		植溝土壌処理	—		—	
なたね、あまに	40.7% SC	種子塗抹	—	12.8~32 fl oz/cwt (0.4~0.8 oz/cwt)	—	—
ナッツ類 (ヘカ、ピスタチオ等)	21.4% SC	散布	収穫7日前まで	0.25~0.50 lb ai/acre	—	0.50 lb ai/acre
		土壌灌注			—	
		植溝土壌処理			—	
	17.4% SC	散布	収穫7日前まで	0.18~0.36 lb ai/acre	—	0.36 lb ai/acre

SC:フロアブル

GR:粒剤

—:規定されていない項目

fl oz:液量オンス (米液量オンス 1 fl oz = 0.0000295735 m³)

cwt:100 lb (45.359 kg)

lb:ポンド (1 lb = 0.45359237 kg)

ai: active ingredient (有効成分) acre:エーカー (1 acre = 約4,047 m²)

oz:オンス (1 oz = 28.35 g)

今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法 (ガーナ(EU))^{注)}

作物名	剤型	使用方法	使用時期	使用量	使用回数	総使用量
カカオ豆	200 g/L SL	散布	—	0.030 kg ai/ha	4回	0.120 kg ai/ha

注) EU基準値の設定の根拠としているガーナの使用方法を示した。

SL: 液剤

—: 規定されていない項目

ai: active ingredient (有効成分)

イミダクロプリド作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) ^(E1) イミダクロプリド/イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物 (総イミダクロプリド)	残留濃度 (mg/kg) ^(E2) 【イミダクロプリド/代謝物M01/代謝物M04】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
稲 (玄米)	2	2.0% GR +0.25% DP	80 g/箱 箱施用 +4 kg/10 a 散布	1	133	圃場A: <0.05 ^(E1)	圃場A: <0.005/<0.008(\$)/<0.005	
					111	圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場B: <0.005/<0.008(\$)/<0.005	
	2	2.0% GR +1.0% GR	80 g/箱 箱施用 +4 kg/10 a 水面施用	1+2	21, 28	圃場A: 0.06(3回, 21日) (#) 圃場B: 0.06(3回, 21日) (#)	圃場A: *0.038/*<0.008(\$)/*<0.005(*3回, 21日) (#) 圃場B: *0.018/*<0.008(\$)/*<0.005(*3回, 21日) (#)	
					88	圃場A: <0.05 ^(E1) (#) 圃場B: <0.05 ^(E1) (#)	圃場A: <0.005/<0.008(\$)/<0.005 (#) 圃場B: <0.005/<0.008(\$)/<0.005 (#)	
	2	2.0% GR +1.0% GR	80 g/箱 箱施用 +3 kg/10 a 水面施用	1+2	80	圃場A: <0.05 (#) 圃場B: <0.05 (#)	圃場A: <0.005/<0.008(\$)/<0.005 (#) 圃場B: 0.006/<0.008(\$)/<0.005 (#)	
					70	圃場A: <0.05 (#) 圃場B: <0.05 (#)	圃場A: <0.02/-/- 圃場B: 0.035/-/(3回, 14日)	
	2	2.0% GR +1.0% GR	80 g/箱 箱施用 +3 kg/10 a 湛水散布	1+2	14, 35, 49, 56	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: 0.086 ^(E1) (3回, 14日)	圃場A: <0.005/-/- 圃場B: 0.041/-/(3回, 14日)	
					14, 24, 31, 38	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: 0.101 ^(E1) (3回, 14日) 圃場C: <0.05 ^(E1) (3回, 21日) 圃場D: <0.05 ^(E1) (3回, 28日)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: 0.014/-/(3回, 21日) 圃場C: 0.011/-/(3回, 28日)	
	2	2.0% GR +1.0% GR	75 g/箱 育苗箱散布 +3 kg/10 a 湛水散布	1+2	14, 21, 28, 42	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: 0.101 ^(E1) (3回, 14日) 圃場C: <0.05 ^(E1) (3回, 21日) 圃場D: <0.05 ^(E1) (3回, 28日)	圃場A: <0.005/-/- 圃場B: 0.041/-/(3回, 14日) 圃場C: 0.014/-/(3回, 21日) 圃場D: 0.011/-/(3回, 28日)	◎
					14, 20, 28	圃場A: 0.069 ^(E1)	圃場A: 0.028/-/-	
2	10.0% WP +50.0% WG	種子重量の0.15%は種前塗沫処理 +15000倍散布 200 L/10 a 種子重量の0.15%は種前塗沫処理 +15000倍散布 150 L/10 a	1+2	14, 20, 28	圃場A: <0.05 ^(E1)	圃場A: 0.028/-/- 圃場B: <0.005/-/-	◎	
				14, 21, 28	圃場A: <0.05 ^(E1)	圃場B: <0.005/-/-		
キノア (脱穀種子)	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	2	圃場A: 3.20 ^(E1) 圃場B: 2.63 ^(E1)	圃場A: 1.30/-/- 圃場B: 1.07/-/-	◎	
				1	圃場A: 1.85 ^(E1) (1回, 7日) 圃場B: 3.42 ^(E1) (1回, 7日)	圃場A: 0.753/-/(1回, 7日) 圃場B: 1.39/-/(1回, 7日)		
ばれいしょ (塊茎)	2	70% WP +10.0% WP	100 g/水1 L/いも200 kg 種いも処理 +1000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A: 0.26(3回, 14日) (#) 圃場B: <0.05(3回, 14日) (#)	圃場A: *0.18/*<0.008(\$)/*<0.005(*3回, 14日) (#) 圃場B: *0.017/*<0.008(\$)/*<0.005(*3回, 14日) (#)	
					14, 21, 28	圃場A: <0.05 ^(E1) (3回, 14日) (#) 圃場B: <0.05 ^(E1) (3回, 21日) (#)	圃場A: 0.015/-/(3回, 14日) (#) 圃場B: 0.01/-/(3回, 21日) (#)	
	4	1.0% GR +50.0% WG	4 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 +5000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A: <0.05 ^(E1) (3回, 21日) 圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場A: 0.02/-/(3回, 21日) 圃場B: <0.01/-/-	
					14, 21, 28	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: <0.05 ^(E1) 圃場C: <0.05 ^(E1) 圃場D: <0.05 ^(E1)	圃場A: 0.02/-/- 圃場B: <0.01/-/- 圃場C: <0.01/-/- 圃場D: 0.02/-/-	
2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 +4000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A: <0.05 ^(E1) (3回, 14日) (#) 圃場B: <0.05 ^(E1) (3回, 14日) (#)	圃場A: <0.01/-/(3回, 14日) (#) 圃場B: <0.01/-/(3回, 14日) (#)		
				14, 21	圃場A: <0.05 ^(E1) (3回, 7日) (#) 圃場B: <0.05 ^(E1) (3回, 7日) (#)	圃場A: <0.01/-/(3回, 7日) (#) 圃場B: <0.01/-/(3回, 7日) (#)		
2	1.0% GR +50.0% WG	6 kg/10 a 植付時作条土壌混和 +10000倍散布 199 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-		
				14, 21, 28	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: <0.05 ^(E1) 圃場C: <0.05 ^(E1) 圃場D: <0.05 ^(E1)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/- 圃場C: <0.01/-/- 圃場D: 0.02/-/-		
2	1.0% GR +10.0% WP	4 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 +2000倍散布 150~300 L/10 a	1+2	14, 21, 28	圃場A: <0.05 ^(E1) (3回, 14日) (#) 圃場B: <0.05 ^(E1) (3回, 14日) (#)	圃場A: <0.01/-/(3回, 14日) (#) 圃場B: <0.01/-/(3回, 14日) (#)		
				14, 21, 28	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-		
こんにゃくいも (球茎)	2	1.0% GR +50.0% WG	6 kg/10 a 培土時土壌混和 +6 kg/10 a 散布	1+2	21, 28, 35	圃場A: <0.05 ^(E1) (3回, 28日) 圃場B: 0.061 ^(E1)	圃場A: 0.021/-/(3回, 28日) 圃場B: 0.041/-/-	
					21, 28, 35	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場A: 0.0195/-/- 圃場B: 0.008/-/-	
	2	10.0% WP +10.0% WP	100 g/6 L/6冊/10 a 苗箱灌注 +1000倍散布 200 L/10 a	1+2	21, 28	圃場A: <0.05 ^(E1) (3回, 21日) (#) 圃場B: <0.05 ^(E1) (3回, 21日) (#)	圃場A: <0.01/-/(3回, 21日) (#) 圃場B: <0.01/-/(3回, 21日) (#)	
					14, 21	圃場A: <0.05 ^(E1) (3回, 21日) (#) 圃場B: <0.05 ^(E1) (3回, 14日)	圃場A: <0.01/-/(3回, 21日) (#) 圃場B: <0.01/-/(3回, 14日)	
2	50.0% WG	300倍灌注 1 L/冊 +5000倍散布 200 L/10 a	1+2	13, 21	圃場A: <0.05 ^(E1) (3回, 13日) 圃場B: <0.05 ^(E1) (3回, 13日)	圃場A: <0.01/-/(3回, 13日) 圃場B: <0.01/-/(3回, 13日)		
				14, 21, 28	圃場A: <0.05 ^(E1)	圃場A: <0.01/-/-		
2	1.0% GR +20.0% SC	6 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 200 L/10 a	1+2	42, 52	圃場A: <0.05(1回, 42日) 圃場B: 0.12(1回, 57日)	圃場A: 0.013/-/(1回, 42日) 圃場B: 0.009/-/(1回, 67日)		
				57, 67	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: 0.01/-/-		
2	1.0% GR +20.0% SC	6 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 200 L/10 a	1+2	42, 52	圃場A: <0.05(1回, 42日) 圃場B: 0.14(1回, 67日)	圃場A: 0.0115/-/(1回, 42日) 圃場B: 0.021/-/(1回, 67日)		
				57, 67	圃場A: 0.42 ^(E1) 圃場B: 0.02 ^(E1)	圃場A: 0.17/-/- 圃場B: 0.01/-/-		
2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 270~300 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A: <0.05 ^(E1) (3回, 21日) (#) 圃場B: 0.05 ^(E1) (3回, 21日) (#)	圃場A: <0.01/-/(3回, 21日) (#) 圃場B: 0.035/-/(3回, 21日) (#)		
				7, 14, 21	圃場A: 2.44 ^(E1) (3回, 21日) (#) 圃場B: 0.20 ^(E1) (3回, 21日) (#)	圃場A: 1.00/-/(3回, 21日) (#) 圃場B: 0.08/-/(3回, 21日) (#)		
キャベツ (葉球)	2	1.0% GR +20.0% SC	0.5 g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 300 L/10 a	1+2	3, 14	圃場A: 0.30 ^(E1) 圃場B: 0.12 ^(E1)	圃場A: 0.13/-/ 圃場B: 0.05/-	
					3, 14	圃場A: 0.40 ^(E1) (#) 圃場B: 0.15 ^(E1) (#)	圃場A: 0.17/-/(#) 圃場B: 0.065/-/(#)	
	4	20.0% SC	200倍 0.5 L/トレイ 定植時苗灌注 +2000倍散布 300 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A: 0.02 ^(E1) (3回, 14日) (#) 圃場B: 0.09 ^(E1) (#) 圃場C: 0.09 ^(E1) (#) 圃場D: 0.09 ^(E1) (#)	圃場A: 0.01/-/(3回, 14日) (#) 圃場B: 0.04/-/(#) 圃場C: 0.04/-/(#) 圃場D: 0.04/-/(#)	◎
					14, 21	圃場A: 0.02 ^(E1) (3回, 14日) (#) 圃場B: 0.09 ^(E1) (#) 圃場C: 0.09 ^(E1) (#) 圃場D: 0.09 ^(E1) (#)	圃場A: 0.01/-/(3回, 14日) (#) 圃場B: 0.04/-/(#) 圃場C: 0.04/-/(#) 圃場D: 0.04/-/(#)	

イミダクロプリド作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) ^(E1) イミダクロプリド/イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物 (総イミダクロプリド)	残留濃度 (mg/kg) ^(E2) 【イミダクロプリド/代謝物M01/代謝物M04】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
芽キャベツ (芽球)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A: <0.47 ^(E7) 圃場B: <0.47 ^(E7)	圃場A: <0.2/-/- 圃場B: <0.2/-/-	
非結球芽キャベツ (本葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A: <0.47 ^(E7) 圃場B: <0.47 ^(E7)	圃場A: <0.2/-/- 圃場B: <0.2/-/-	
非結球芽キャベツ (えき芽葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A: 1.18 ^(E7) 圃場B: <0.47 ^(E7)	圃場A: 0.5/-/- 圃場B: <0.2/-/-	
みずな (莖葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A: 1.97 ^(E5) 圃場B: 3.48 ^(E5)	圃場A: 1.23/-/- 圃場B: 2.175/-/-	◎
	2			3, 7, 14	圃場A: 1.82 ^(E5) 圃場B: 3.02 ^(E5)	圃場A: 1.14/-/- 圃場B: 1.89/-/-		
ブロッコリー (花蕾)	2	20.0% SC	2000倍散布 150, 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A: 0.61 ^(E5) (2回, 3日) 圃場B: 3.42 ^(E5) (2回, 3日)	圃場A: 0.38/-/(2回, 3日) 圃場B: 2.14/-/(2回, 3日)	
	2	20.0% SC +1.0% GR +20.0% SC	200倍 0.5 L/トレイ 定植時苗灌注 +0.5 g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 150, 300 L/10 a	1+1+2	3, 7, 14	圃場A: 0.38 ^(E5) (4回, 3日) (H) 圃場B: 2.75 ^(E5) (4回, 3日) (H)	圃場A: 0.24/-/(4回, 3日) (H) 圃場B: 1.72/-/(4回, 3日) (H)	◎
	2	20.0% SC +1.0% GR +20.0% SC	200倍 0.5 L/トレイ 定植時苗灌注 +0.5 g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 295~300 L/10 a	1+1+2	3, 7	圃場A: 0.23 (4回, 3日) (H) 圃場B: 0.81 (4回, 3日) (H)	圃場A: 0.12/-/(4回, 3日) (H) 圃場B: 0.63/-/(4回, 3日) (H)	
わさび (花及び花茎)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A: 5.45 ^(E7) 圃場B: 1.75 ^(E7)	圃場A: 2.30/-/- 圃場B: 0.74/-/-	
わさび (葉及び葉柄)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A: 3.22 ^(E7) 圃場B: 0.64 ^(E7)	圃場A: 1.36/-/- 圃場B: 0.27/-/-	
わさび (根及び根茎)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A: 0.30 ^(E16) 圃場B: 0.09 ^(E16)	圃場A: 0.2/-/- 圃場B: 0.06/-/-	
なばな (花茎)	2	50.0% WG	10000倍散布 250 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A: 3.73 ^(E7) 圃場B: 1.05 ^(E7)	圃場A: 1.575/-/- 圃場B: 0.445/-/-	◎
ごぼう (根節)	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 200 L/10 a	1+2	7, 14, 21, 28	圃場A: <0.05 ^(E16) 圃場B: <0.05 ^(E16)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: 0.01/-/-	
	2	1.0% GR	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4 kg/10 a 株元散布			圃場A: <0.05 ^(E16) 圃場B: <0.05 ^(E16)	圃場A: 0.015/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
エンダイブ (莖葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 200, 303~560.6 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A: 3.71 ^(E10) 圃場B: 3.62 ^(E10)	圃場A: 2.26/-/- 圃場B: 2.21/-/-	◎
レタス (莖葉)	2	1.0% GR +20.0% SC	0.5 g/株 定植時ポット処理 +4000倍散布 193~206 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.17 ^(E9) 圃場B: 0.66 ^(E9)	圃場A: 0.14/-/- 圃場B: 0.53/-/-	
サラダ菜 (莖葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A: 0.57 ^(E10) 圃場B: 0.24 ^(E10) (2回, 14日)	圃場A: 0.35/-/- 圃場B: 0.15/-/(2回, 14日)	
リーフレタス (莖葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A: 1.31 ^(E10) 圃場B: 0.33 ^(E10)	圃場A: 0.8/-/- 圃場B: 0.2/-/-	◎
食用ぎく (花卉)	2	20.0% SC	4000倍散布 250~300 L/10 a	2	7, 14	圃場A: 1.14 ^(E10) 圃場B: 0.60 ^(E10)	圃場A: 0.70/-/- 圃場B: 0.37/-/-	
きく (葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A: <0.49 ^(E11) 圃場B: <0.49 ^(E11)	圃場A: <0.2/-/- 圃場B: <0.2/-/-	
ふき (莖)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A: 0.20 ^(E10) 圃場B: 0.13 ^(E10)	圃場A: 0.12/-/- 圃場B: 0.08/-/-	
ふきのとう (花蕾)	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	2	46, 60, 75	圃場A: 0.05 ^(E11) (2回, 46日) 圃場B: 0.15 ^(E11)	圃場A: 0.02/-/(2回, 46日) 圃場B: 0.06/-/-	
					45, 60, 75	圃場A: 0.05 ^(E11) (2回, 46日) 圃場B: 0.15 ^(E11)	圃場A: 0.02/-/(2回, 46日) 圃場B: 0.06/-/-	
葉ごぼう (可食部)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A: 1.46 ^(E11) 圃場B: 2.78 ^(E11) (2回, 21日)	圃場A: 0.60/-/- 圃場B: 1.14/-/(2回, 21日)	
すいぜんじな (莖葉)	2	50.0% WG	10000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A: 0.66 ^(E10) 圃場B: 4.26 ^(E10)	圃場A: 0.4/-/- 圃場B: 2.6/-/-	◎
たまねぎ (鱗莖)	2	50.0% WG	5000倍散布 200 L/10 a	2	14, 21	圃場A: <0.05 ^(E16) 圃場B: <0.05 ^(E16)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	◎
たまねぎ (鱗莖)	2	20% SC	200倍 0.5 L/トレイ 定植時苗灌注	1	125	圃場A: <0.05 ^(E16) (1回, 125日) (H) 圃場B: <0.05 ^(E16) (1回, 88日) (H)	圃場A: <0.01/-/(1回, 125日) (H) 圃場B: <0.01/-/(1回, 88日) (H)	
					88	圃場A: <0.05 ^(E16) (1回, 125日) (H) 圃場B: <0.05 ^(E16) (1回, 88日) (H)	圃場A: <0.01/-/(1回, 125日) (H) 圃場B: <0.01/-/(1回, 88日) (H)	
根深ねぎ (莖葉)	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 定植時播溝土壌混和 +2000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A: 0.37 ^(E11) 圃場B: <0.02 ^(E11)	圃場A: 0.15/-/- 圃場B: <0.01/-/-	◎
					7, 14, 21, 28	圃場A: 0.07 ^(E11) (3回, 21日) 圃場B: <0.02 ^(E11)	圃場A: 0.03/-/(3回, 21日) 圃場B: <0.01/-/-	
葉ねぎ (莖葉)	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 定植時播溝土壌混和 +2000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A: 0.10 ^(E11) 圃場B: 0.54 ^(E11)	圃場A: 0.04/-/- 圃場B: 0.22/-/-	◎
					7, 14, 21, 28	圃場A: 0.07 ^(E11) 圃場B: <0.02 ^(E11)	圃場A: 0.03/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
にら (莖葉)	3	1.0% GR	4 kg/10 a 定植時播溝土壌混和 +4 kg/10 a 株元散布	1+1	30, 45, 60	圃場A: <2.46 ^(E2) 圃場B: 3.54 ^(E2) (2回, 45日) 圃場C: 0.48 ^(E2) (2回, 60日)	圃場A: <0.205(-)/-/- 圃場B: 0.295/-/(2回, 45日) 圃場C: 0.04/-/(2回, 60日)	◎
					30, 45, 60	圃場A: <0.60 ^(E2) 圃場B: <0.60 ^(E2)	圃場A: <0.05/-/- 圃場B: <0.05/-/-	◎
アスパラガス (若莖)	2	20.0% SC	2000倍散布 300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A: 0.157 ^(E8) 圃場B: 0.336 ^(E8)	圃場A: 0.14/-/- 圃場B: 0.30/-/-	◎
					7, 14, 21	圃場A: <0.056 ^(E8) 圃場B: <0.056 ^(E8)	圃場A: <0.05/-/- 圃場B: <0.05/-/-	
わけぎ (莖葉)	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 定植時播溝土壌混和 +2000倍散布 300 L/10 a	1+2	3, 7, 14	圃場A: 0.868 ^(E9) 圃場B: 1.24 ^(E9)	圃場A: 0.7/-/- 圃場B: 1.0/-/-	◎
食用ゆり (鱗莖)	2	50.0% WG	5000倍散布 300 L/10 a	3	1, 7, 14, 21	圃場A: <0.05 ^(E16) 圃場B: <0.05 ^(E16)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
にんじん (根節)	2	50.0% WG	10000倍散布 200, 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A: <0.05 ^(E16) 圃場B: <0.05 ^(E16)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: 0.02/-/-	
パセリ (莖葉)	2	1.0% GR	0.5 g/株 定植時播溝土壌混和 +3 kg/10 a 株元散布	1+1	14, 21, 28	圃場A: 11.28 ^(E2) 圃場B: 4.08 ^(E2)	圃場A: 0.94/-/- 圃場B: 0.34/-/-	
					7, 14, 21	圃場A: 3.416 ^(E11) 圃場B: 3.172 ^(E11)	圃場A: 1.4/-/- 圃場B: 1.3/-/-	◎

イミダクロプリド作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) ^(E1) イミダクロプリド/イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物 (総イミダクロプリド)	残留濃度 (mg/kg) ^(E2) 【イミダクロプリド/代謝物M01/代謝物M04】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
セルリー (莖葉)	3	20.0% SC	4000倍散布 182, 200 L/10 a	3	1, 14, 21	圃場A: 0.48 ^(E10) 圃場B: 0.96 ^(E10) 圃場C: 1.67 ^(E10)	圃場A: 0.295/-/- 圃場B: 0.59/-/- 圃場C: 1.02/-/-	
みつば (莖葉)	2	50.0% WG	10000倍散布 150, 200 L/10 a	2	1, 14, 21	圃場A: 4.54 ^(E10) 圃場B: 4.10 ^(E10)	圃場A: 2.77/-/- 圃場B: 2.50/-/-	◎
はまぼうふう (莖葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	1, 14, 21	圃場A: 0.30 ^(E10) 圃場B: 0.16 ^(E10)	圃場A: 0.18/-/- 圃場B: 0.10/-/-	
トマト (果実)	2	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A: 0.33 ^(E3) (3回, 1日) (#) 圃場B: 0.126 ^(E3) (3回, 1日) (#)	圃場A: 0.26/-/(3回, 1日) (#) 圃場B: 0.10/-/(3回, 1日) (#)	◎
ミニトマト (果実)	4	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 200, 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.284 ^(E3) (3回, 1日) (#) 圃場B: 0.636 ^(E3) (3回, 14日) (#) 圃場C: 0.176 ^(E3) (3回, 7日) (#) 圃場D: 0.113 ^(E3) (3回, 1日) (#)	圃場A: 0.225/-/(3回, 1日) (#) 圃場B: 0.505/-/(3回, 14日) (#) 圃場C: 0.14/-/(3回, 7日) (#) 圃場D: 0.09/-/(3回, 1日) (#)	◎
ピーマン (果実)	5	1.0% GR +50.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +5000倍散布 150, 250 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A: 1.008 ^(E3) 圃場B: 0.882 ^(E3)	圃場A: 0.8/-/- 圃場B: 0.7/-/-	◎
		1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 200, 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場C: 0.504 ^(E3) (3回, 1日) (#) 圃場D: 1.808 ^(E3) (3回, 1日) (#)	圃場C: 0.40/-/(3回, 1日) (#) 圃場D: 1.435/-/(3回, 1日) (#)	
		1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 196~202 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場E: 0.454 ^(E3) (3回, 1日) (#)	圃場E: 0.36/-/(3回, 1日) (#)	
なす (果実)	2	1.0% GR	2 g/株 定植時植穴処理	1	47, 57 65, 75	圃場A: <0.05 ^(E5) (1回, 47日) 圃場B: <0.05 ^(E5) (1回, 65日)	圃場A: *0.005/*0.008(\$)/*0.005(*1回, 47日) 圃場B: *0.005/*0.008(\$)/*0.005(*1回, 65日)	
	2	1.0% GR +10.0% WP	2 g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 200 L/10 a	1+2	1, 3	圃場A: 0.18 圃場B: 0.10 (3回, 3日)	圃場A: 0.107/<0.008(\$)/<0.005 圃場B: 0.076/<0.008(\$)/<0.005	
	2	1.0% GR +10.0% WP	2 g/株 定植時植穴処理 +100 g/5 L/10 a 常温煙霧処理	1+2	1, 3, 7	圃場A: <0.05 ^(E3) 圃場B: 0.12 ^(E3)	圃場A: 0.035/-/- 圃場B: 0.10/-/-	
	4	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 280, 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A: 0.712 ^(E3) (3回, 1日) (#) 圃場B: 0.353 ^(E3) (3回, 1日) (#)	圃場A: 0.565/-/(3回, 1日) (#) 圃場B: 0.28/-/(3回, 3日) (#)	◎
		1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 280, 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場C: 0.113 ^(E3) (3回, 1日) (#) 圃場D: 0.113 ^(E3) (3回, 1日) (#)	圃場C: 0.09/-/(3回, 1日) (#) 圃場D: 0.09/-/(3回, 1日) (#)	
ししとう (果実)	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +5000倍散布 300, 120 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A: 1.89 ^(E3) 圃場B: 1.51 ^(E3)	圃場A: 1.5/-/- 圃場B: 1.2/-/-	◎
伏見甘長とうがらし (果実)	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +5000倍散布 300, 289.4 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A: 1.44 ^(E3) (3回, 3日) 圃場B: 1.89 ^(E3)	圃場A: 1.15/-/(3回, 3日) 圃場B: 1.5/-/-	◎
きゅうり (果実)	2	1.0% GR	2 g/株 定植時植穴処理	1	41, 51 38, 48	圃場A: <0.05 (1回, 41日) 圃場B: <0.05 (1回, 38日)	圃場A: *0.009/*0.008(\$)/*0.005(*1回, 41日) 圃場B: *0.005/*0.008(\$)/*0.005(*1回, 38日)	
	2	1.0% GR +10.0% WP	2 g/株 定植時植穴処理 +100 g/5 L/10 a 常温煙霧処理	1+2	1, 3	圃場A: 0.05 ^(E3) 圃場B: 0.05 ^(E3)	圃場A: 0.04/-/- 圃場B: 0.04/-/-	
		2	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 150~200, 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A: 0.498 ^(E3) (4回, 1日) (#) 圃場B: 0.189 ^(E3) (4回, 1日) (#)	圃場A: 0.395/-/(4回, 1日) (#) 圃場B: 0.15/-/(4回, 1日) (#)
かぼちゃ (果実)	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 188.9, 200 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A: <0.05 ^(E3) (3回, 3日) 圃場B: <0.05 ^(E3)	圃場A: 0.02/-/(3回, 3日) 圃場B: 0.035/-/-	
	2	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +4000倍散布 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A: 0.095 ^(E3) 圃場B: 0.120 ^(E3)	圃場A: 0.075/-/- 圃場B: 0.095/-/-	
すいか (果実)	2	1.0% GR +20.0% SC	5 g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 204~295 L/10 a	1+2	3, 7, 14	圃場A: 0.095 ^(E3) (4回, 3日) (#) 圃場B: 0.103 ^(E3) (4回, 3日) (#)	圃場A: 0.06/-/(4回, 3日) (#) 圃場B: 0.065/-/(4回, 3日) (#)	◎
すいか (果肉)	2	1.0% GR +20.0% SC	5 g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 204~295 L/10 a	1+2	3, 7, 14	圃場A: - ^(E3) 圃場B: - ^(E3)	圃場A: 0.025/-/(4回, 14日) (#) 圃場B: 0.015/-/(4回, 14日) (#)	
メロン (果実)	3	20.0% SC	2000倍散布 250~281 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A: 0.413 ^(E3) (#) 圃場B: 0.382 ^(E3) (#) 圃場C: 0.318 ^(E3) (#)	圃場A: 0.26/-/(#) 圃場B: 0.24/-/(#) 圃場C: 0.20/-/(#)	◎
メロン (果肉)	3	20.0% SC	2000倍散布 250~281 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A: - ^(E3) 圃場B: - ^(E3) 圃場C: - ^(E3)	圃場A: 0.03/-/(#) 圃場B: <0.01/-/(#) 圃場C: 0.02/-/(#)	
メロン (果肉)	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +5000倍散布 300, 250 L/10 a	1+2	3, 7, 14	圃場A: - ^(E3) 圃場B: - ^(E3)	圃場A: 0.025/-/- 圃場B: 0.025/-/(4回, 7日)	
	2	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 300 L/10 a	1+2	3, 7, 14	圃場A: - ^(E3) 圃場B: - ^(E3)	圃場A: 0.02/-/(4回, 7日) (#) 圃場B: <0.01/-/(4回, 3日) (#)	
まくわうり (果肉)	2	1.0% GR	1 g/株 定植時植穴土壌混和	1	70, 80, 90	圃場A: <0.05 ^(E5) 圃場B: <0.05 ^(E5)	圃場A: <0.02/-/(1回, 70日) 圃場B: <0.02/-/(1回, 70日)	◎
にがうり (可食部)	2	10.0% WP	2000倍散布 250 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A: 0.214 ^(E3) 圃場B: 0.510 ^(E3)	圃場A: 0.17/-/- 圃場B: 0.405/-/-	◎
ほうれんそう (莖葉)	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 150~200 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A: 3.198 ^(E10) (#) 圃場B: 9.438 ^(E10) (#)	圃場A: 1.95/-/(#) 圃場B: 5.755/-/(#)	
	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 116~120 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A: 0.82 ^(E10) (#) 圃場B: 0.164 ^(E10) (#)	圃場A: 0.50/-/(#) 圃場B: 0.10/-/(#)	
	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 119~203 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A: 0.492 ^(E10) (#) 圃場B: 1.181 ^(E10) (#)	圃場A: 0.30/-/(#) 圃場B: 0.72/-/(#)	
	6	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 167~190 L/10 a	1+1	1, 3, 7, 14	圃場A: 2.11 圃場B: 6.20 圃場C: 3.76 圃場D: 2.98 圃場E: 6.63 圃場F: 5.44	圃場A: 0.86/-/- 圃場B: 3.90/-/- 圃場C: 2.42/-/- 圃場D: 1.76/-/- 圃場E: 3.88/-/- 圃場F: 3.71/-/-	◎
オクラ (さや)	2	20.0% SC	4000倍散布 132~200 L/10 a	3	1, 2, 3, 7	圃場A: 0.151 ^(E3) 圃場B: 0.265 ^(E3)	圃場A: 0.12/-/- 圃場B: 0.21/-/-	◎
さやいんげん (さや)	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 100, 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.22 ^(E3) 圃場B: 0.34 ^(E3)	圃場A: 0.175/-/- 圃場B: 0.27/-/-	
さやえんどう (さや)	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.20 ^(E3) 圃場B: 0.16 ^(E3)	圃場A: 0.16/-/- 圃場B: 0.125/-/-	
えだまめ (さや)	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 200 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.59 ^(E3) (3回, 3日) 圃場B: 0.51 ^(E3) (3回, 3日)	圃場A: 0.47/-/(3回, 3日) 圃場B: 0.405/-/(3回, 3日)	◎
	1	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 195~200 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A: 0.38 ^(E3)	圃場A: 0.30/-/-	
未成熟さやげ (さや)	2	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +4000倍散布 200 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.11 ^(E3) 圃場B: 0.16 ^(E3)	圃場A: 0.09/-/- 圃場B: 0.13/-/-	

イミダクロプリド作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) ^(E1) イミダクロプリド/イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物 (総イミダクロプリド)	残留濃度 (mg/kg) ^(E2) 【イミダクロプリド/代謝物M01/代謝物M04】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
未成熟そらまめ (可食部)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14	圃場A: 0.159 ^(E1) 圃場B: 0.262 ^(E1)	圃場A: 0.10/-/- 圃場B: 0.165/-/-	
れんこん (可食部)	2	1.0% GR	3 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 +6 kg/10 a 散布	1+2	7, 14, 21	圃場A: <0.05 ^(E1) (3回, 14日) (H) 圃場B: <0.05 ^(E1) (3回, 14日) (H)	圃場A: <0.01/-/- (3回, 14日) (H) 圃場B: <0.01/-/- (3回, 14日) (H)	
	2	1.0% GR +20.0% SC	3 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 +4000倍散布 150 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
モロヘイヤ (可食部)	2	20.0% SC	2000倍散布 300 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A: 0.98 ^(E1) 圃場B: 2.44 ^(E1)	圃場A: 0.4/-/- 圃場B: 1.0/-/-	◎
やまのいも (むかご)	2	1.0% GR	4 kg/10 a 植付時植溝土壌混和	1	210	圃場A: <0.05 ^(E1)	圃場A: 0.06/-/-	
					140	圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場B: <0.05/-/-	
くわい (塊茎)	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	3	21, 30, 42	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
					21, 28, 43	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
ふだんそう (茎葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A: 2.79 ^(E1) 圃場B: 3.30 ^(E1)	圃場A: 1.70/-/- 圃場B: 2.01/-/-	
食用さくら (茎葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A: 0.99 ^(E1) 圃場B: 0.45 ^(E1)	圃場A: 0.80/-/- 圃場B: 0.36/-/-	
食用プリムラ (花器全体)	2	20.0% SC	4000倍散布 150 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A: 0.56 ^(E1) 圃場B: 0.44 ^(E1)	圃場A: 0.23/-/- 圃場B: 0.18/-/-	
じゅんさい (葉)	2	1.0% GR	3 kg/10 a 散布	2	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.313 ^(E1) (2回, 3日) 圃場B: 0.246 ^(E1)	圃場A: 0.28/-/- (2回, 3日) 圃場B: 0.22/-/-	
うど (軟化茎葉)	2	20.0% SC	2000倍散布 200 L/10 a	3	60	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
					圃場A: 0.112 ^(E1) 圃場B: 0.269 ^(E1)	圃場A: 0.10/-/- 圃場B: 0.24/-/-		
アマランサス (茎葉)	3	20.0% SC	5000倍散布 300 L/10 a	2	1, 2, 4, 7	圃場A: 4.76 ^(E1)	圃場A: 2.9/-/-	
					1, 3, 7, 14	圃場B: <0.82 ^(E1)	圃場B: <0.5/-/-	
食用かえで (葉、葉柄及び枝)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	14, 21, 28	圃場A: 5.90 ^(E1) 圃場B: 5.10 ^(E1)	圃場A: 2.42/-/- 圃場B: 2.09/-/-	◎
					圃場A: 0.05 ^(E1) 圃場B: 0.067 ^(E1)	圃場A: 0.015/-/- 圃場B: 0.04/-/-		
温州みかん (果肉)	2	20.0% SC	2000倍散布 500, 700 L/10 a	3	14, 30, 45	圃場A: 1.42 ^(E1) 圃場B: 3.07 ^(E1)	圃場A: 0.98/-/- 圃場B: 2.12/-/-	◎
温州みかん (果皮)	2	20.0% SC	2000倍散布 500, 700 L/10 a	3	14, 30, 45	圃場A: 0.564 ^(E1) 圃場B: 1.081 ^(E1)	圃場A: 0.245/-/- ^(E3) 圃場B: 0.47/-/- ^(E3)	○
夏みかん (果肉)	2	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	3	14, 21	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
	1				10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	14	圃場A: <0.05 ^(E1) (H) 圃場B: <0.05 ^(E1) (H)
夏みかん (果皮)	2	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	3	14, 21	圃場A: 0.486 ^(E1) 圃場B: 0.950 ^(E1)	圃場A: 0.335/-/- 圃場B: 0.655/-/-	
	1				10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	14	圃場A: 0.239 ^(E1) (H) 圃場B: 0.239 ^(E1) (H)
夏みかん (果実)	2	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	3	14, 21	圃場A: 0.299 ^(E1) 圃場B: 0.518 ^(E1) (3回, 21日)	圃場A: 0.13/-/- 圃場B: 0.225/-/- (3回, 21日)	◎
	1				10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	14	圃場A: 0.115 ^(E1) (H) 圃場B: <0.05 ^(E1) (H)
いよかん (果肉)	1	20.0% SC	10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	14	圃場A: <0.05 ^(E1) (H) 圃場B: 0.29 ^(E1) (H)	圃場A: <0.01/-/- (H) 圃場B: 0.20/-/- (H)	
いよかん (果皮)	1	20.0% SC	10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	14	圃場A: 0.138 ^(E1) (H) 圃場B: 0.37 ^(E1) (H)	圃場A: 0.06/-/- (H) 圃場B: 0.16/-/- (H)	
すだち (果実)	1	20.0% SC	2000倍散布 250 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A: 0.07 ^(E1) 圃場B: 0.37 ^(E1) (H)	圃場A: 0.03/-/- 圃場B: 0.16/-/- (H)	◎
	1				10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	14	圃場A: 0.60 ^(E1) 圃場B: 0.12 ^(E1) (H)
かぼす (果実)	1	20.0% SC	2000倍散布 600 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A: 0.60 ^(E1) 圃場B: 0.22 (2回, 30日)	圃場A: 0.26/-/- 圃場B: *0.096/*0.015/*<0.005 (*2回, 21日, **2回, 45日)	
	1				10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	15	圃場A: 0.12 ^(E1) (H) 圃場B: 0.13 (2回, 21日)
りんご (果実)	2	10.0% WP	1000倍散布 500 L/10 a	2	21, 30, 45	圃場A: 0.286 ^(E1) 圃場B: 0.175 ^(E1)	圃場A: 0.18/-/- 圃場B: 0.11/-/-	◎
	2	50.0% WG	5000倍散布 600 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A: 0.36 (2回, 30日) 圃場B: 0.18 (2回, 30日)	圃場A: *0.180/*0.027/*<0.005 (*2回, 30日) 圃場B: *0.053/*0.018/*<0.005 (*2回, 30日)	
なし (果実)	2	10.0% WP	1000倍散布 400 L/10 a	2	30, 37 30, 45	圃場A: 0.230 ^(E1) (2回, 3日) (H) 圃場B: 0.294 ^(E1) (H)	圃場A: 0.145/-/- (2回, 3日) (H) 圃場B: 0.185/-/- (H)	
	2	20.0% SC	2000倍散布 350, 400 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A: 3.40 ^(E1) 圃場B: 0.93 ^(E1)	圃場A: 2.01/-/- ^(E3) 圃場B: 0.55/-/- ^(E3)	
びわ (果実 (無袋))	4	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A: 0.29 ^(E1) 圃場B: 1.37 ^(E1)	圃場A: 0.17/-/- ^(E3) 圃場B: 0.81/-/- ^(E3)	◎
					圃場C: 0.29 ^(E1) 圃場D: 1.37 ^(E1)	圃場C: 0.17/-/- ^(E3) 圃場D: 0.81/-/- ^(E3)		
もも (果肉)	2	10.0% WP	1000倍散布 400 L/10 a	2	30, 45	圃場A: 0.27 (2回, 45日) 圃場B: 0.28 (2回, 30日)	圃場A: *0.157/*<0.008 (\$)/*<0.005 (*2回, 30日) 圃場B: *0.131/*<0.008 (\$)/*<0.005 (*2回, 30日)	
	2	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A: 0.239 ^(E1) (2回, 3日) (H) 圃場B: 0.223 ^(E1) (2回, 3日) (H)	圃場A: 0.15/-/- (2回, 3日) (H) 圃場B: 0.14/-/- (2回, 3日) (H)	△
もも (果皮)	2	10.0% WP	1000倍散布 400 L/10 a	2	30, 45	圃場A: <0.05 ^(E1) 圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場A: *0.480/*0.471/*0.0315 (*2回, 30日) 圃場B: *0.380/*0.371/*0.028 (*2回, 30日, **2回, 45日)	
	2	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A: 0.9/-/- (2回, 3日) (H) 圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場A: 0.9/-/- (2回, 3日) (H) 圃場B: 1.7/-/- (2回, 3日) (H)	
もも (果実)	2	10.0% WP	1000倍散布 400 L/10 a	2	30, 45	圃場A: 0.79 ^(E1) (2回, 30日) 圃場B: 0.67 ^(E1) (2回, 30日)	圃場A: *0.191/*0.052/*0.003 ^(E4) (*2回, 30日, **2回, 45日) 圃場B: *0.163/*0.041/*0.0035 ^(E4) (*2回, 30日, **2回, 45日)	
	2	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A: 0.421 ^(E1) (H) 圃場B: 0.580 ^(E1) (H)	圃場A: 0.265/-/- ^(E4) (H) 圃場B: 0.365/-/- ^(E4) (H)	○
ネクタリン (果実)	2	10.0% WP	1000倍散布 15 L/樹, 700 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A: 0.61 ^(E1) 圃場B: 0.39 ^(E1) (2回, 21日)	圃場A: 0.28/-/- 圃場B: 0.18/-/- (2回, 21日)	
あんず (果実)	2	20.0% SC	5000倍散布 400, 300 L/10 a	2	3, 7, 11, 18 7, 14, 21	圃場A: 0.621 ^(E1) 圃場B: 0.371 ^(E1)	圃場A: 0.285/-/- 圃場B: 0.17/-/-	
すもも (果実)	2	10.0% WP	2000倍散布 300, 400 L/10 a	2	21, 28	圃場A: 0.096 ^(E1) 圃場B: <0.05 ^(E1)	圃場A: 0.03/-/- 圃場B: <0.01/-/-	

イミダクロプリド作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) ^(E1) イミダクロプリド/イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物 (総イミダクロプリド)	残留濃度 (mg/kg) ^(E2) 【イミダクロプリド/代謝物M01/代謝物M04】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
うめ (果実)	2	10.0% WP	2000倍散布 300, 400 L/10 a	2	21, 28	圃場A: 0.208 ^(E12) 圃場B: 0.176 ^(E12)	圃場A: 0.065/-/- 圃場B: 0.055/-/-	
いちご (果実)	2	1.0% GR	1 g/株 定植時植穴処理	1	105, 113 150, 160	圃場A: 0.05 ^(E19) (1回, 105日) (#) 圃場B: 0.125 ^(E19) (1回, 150日) (#)	圃場A: 0.01/-/(1回, 105日) (#) 圃場B: 0.025/-/(1回, 150日) (#)	
ぶどう (果実)	2	10.0% WP	1000倍散布 300 L/10 a	2	21, 30	圃場A: 1.64 圃場B: 0.39	圃場A: 1.209/0.01/0.006 圃場B: 0.208/<0.01/<0.01	◎
ぶどう (果実)	2	50.0% WG	5000倍散布 300 L/10 a	2	21, 28	圃場A: 1.069 ^(E15) 圃場B: 0.562 ^(E15) (2回, 28日)	圃場A: 0.78/-/- 圃場B: 0.41/-/(2回, 28日)	
ぶどう (果実)	4	10.0% WP	50倍常温煙霧 10 L/10 a	2	21, 30, 45	圃場A: 0.10 ^(E15) (#) 圃場B: 0.08 ^(E15) (#) 圃場C: 0.08 ^(E15) (#) 圃場D: 0.14 ^(E15) (#)	圃場A: 0.07/-/(#) 圃場B: 0.06/-/(#) 圃場C: 0.055/-/(#) 圃場D: 0.10/-/(#)	
かき (果実)	2	10.0% WP	1000倍散布 500 L/10 a	3	14, 21 15, 21	圃場A: 0.575 ^(E17) (3回, 21日) 圃場B: 0.414 ^(E17)	圃場A: 0.34/-/(3回, 21日) 圃場B: 0.245/-/-	◎
キウイフルーツ (果肉)	5	20.0% SC	2000倍散布 333~380 L/10 a	2	1 1, 3, 7	圃場A: <0.05 ^(E20) 圃場B: <0.05 ^(E20) 圃場C: <0.05 ^(E20) 圃場D: <0.05 ^(E20) 圃場E: <0.05 ^(E20)	圃場A: 0.1017/-/- 圃場B: 0.058/-/- 圃場C: 0.008/-/- 圃場D: 0.004/-/- 圃場E: 0.002/-/-	
キウイフルーツ (果実)	5	20.0% SC	2000倍散布 333~380 L/10 a	2	1 1, 3, 7	圃場A: 1.90 ^(E23) 圃場B: 8.78 ^(E23) 圃場C: 1.73 ^(E23) 圃場D: 0.709 ^(E23) 圃場E: 0.830 ^(E23)	圃場A: 1.51/-/- 圃場B: 6.97/-/- 圃場C: 1.37/-/- 圃場D: 0.563/-/- 圃場E: 0.659/-/-	◎
マンゴー (果実)	2	10.0% WP	1000倍散布 450 L/10 a	2	14, 21, 30	圃場A: 0.883 ^(E18) (#) 圃場B: 0.850 ^(E18) (#)	圃場A: 0.405/-/(#) 圃場B: 0.39/-/(#)	◎
パッションフルーツ (果実)	2	50.0% WG	10000倍散布 250, 625 L/10 a	2	14, 21	圃場A: 0.254 ^(E17) 圃場B: 0.473 ^(E17)	圃場A: 0.15/-/- 圃場B: 0.28/-/-	◎
アセロラ (果実)	2	20.0% SC	4000倍散布 400, 500 L/10 a	2	14, 21	圃場A: 0.30 ^(E17) 圃場B: 0.51 ^(E17)	圃場A: 0.18/-/- 圃場B: 0.30/-/-	
ビタヤ (果実)	2	20.0% SC	2000倍散布 200 L/10 a	2	14, 21	圃場A: 0.439 ^(E17) 圃場B: 0.186 ^(E17)	圃場A: 0.26/-/- 圃場B: 0.11/-/-	
アデモヤ (果実)	2	50.0% WG	10000倍散布 270, 300 L/10 a	2	14, 21	圃場A: 0.30 ^(E17) 圃場B: <0.05 ^(E17)	圃場A: 0.18/-/- 圃場B: <0.02/-/-	
くり (果実)	2	10.0% WP	1000倍散布 300 L/10 a	3	14, 21 13, 21	圃場A: <0.05 ^(E17) 圃場B: <0.05 ^(E17)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	◎
ギンナン (種子)	2	20.0% SC	2000倍散布 300 L/10 a	2	7, 14 1, 7, 14	圃場A: <0.05 ^(E23) 圃場B: <0.05 ^(E23)	圃場A: <0.005/-/- 圃場B: 0.01/-/-	◎
ごま (種子)	2	1.0% GR	3 kg/10 a 播種時播溝土壌混和	1	86 81	圃場A: <0.05 ^(E21) 圃場B: <0.05 ^(E21)	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	◎
茶 (荒茶)	2	10.0% WP	1000倍散布 200 L/10 a	1	13, 20, 27 14, 21, 28	圃場A: 4.96 ^(E11) (1回, 13日) 圃場B: 4.00 ^(E11) (1回, 14日)	圃場A: *2.035/*1.04/*0.03(*1回, 13日) 圃場B: *1.64/**0.82/*<0.01(*1回, 14日、**1回, 21日)	
	2	50.0% WG	5000倍散布 200 L/10 a	1	14, 21	圃場A: 5.61 ^(E10) (#) 圃場B: 6.00 ^(E10) (#)	圃場A: 3.42/-/(#) 圃場B: 3.66/-/(#)	
茶 (浸出液)	2	10.0% WP	1000倍散布 200 L/10 a	1	13, 20, 27 14, 21, 28	圃場A: 4.45 ^(E11) (1回, 13日) 圃場B: 3.68 ^(E11) (1回, 14日)	圃場A: *1.825/*0.85/*0.02(*1回, 13日) 圃場B: *1.51/**0.48/*<0.01(*1回, 14日、**1回, 21日)	
	2	50.0% WG	5000倍散布 200 L/10 a	1	14, 21	圃場A: 4.14 ^(E10) (#) 圃場B: 5.42 ^(E10) (#)	圃場A: 2.53/-/(#) 圃場B: 3.31/-/(#)	
コリアンダー (茎葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 150, 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A: 1.84 ^(E9) 圃場B: 1.32 ^(E9)	圃場A: 1.49/-/- 圃場B: 1.07/-/-	
あさつき (茎葉)	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 定植時播溝土壌混和 +2000倍散布 300 L/10 a	1+2	3, 7, 14	圃場A: 2.98 ^(E9) 圃場B: 1.74 ^(E9)	圃場A: 2.4/-/- 圃場B: 1.4/-/-	
しそ (葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A: 5.46 ^(E9) 圃場B: 10.5 ^(E9)	圃場A: 4.4/-/- 圃場B: 8.5/-/-	
バジル (茎葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 3.94 ^(E10) 圃場B: 3.21 ^(E10)	圃場A: 2.40/-/- 圃場B: 1.96/-/-	
しそ (花穂)	2	20.0% SC	4000倍散布 150 L/10 a	2	14, 21	圃場A: 2.76 ^(E10) 圃場B: 0.30 ^(E10)	圃場A: 1.68/-/- 圃場B: 0.18/-/-	
みょうが (花穂)	2	50.0% WG	10000倍散布 300, 350 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A: <0.05 ^(E8) 圃場B: <0.05 ^(E8)	圃場A: <0.02/-/- 圃場B: <0.04/-/-	
さんしょう (葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A: 12.4 ^(E11) 圃場B: 16.6 ^(E11)	圃場A: 5.08/-/- 圃場B: 6.79/-/-	

イミダクロプリド作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) ^(E1) イミダクロプリド/イミダクロプリド及び6- クロロピリジル基を有する代謝物 (総イミダクロプリド)	残留濃度(mg/kg) ^(E2) 【イミダクロプリド/代謝物M01/代謝物M04】	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
やなぎたて (茎葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 9.67 ^(E3) 圃場B : 11.9 ^(E3)	圃場A : 7.8/-/- 圃場B : 9.6/-/-	◎
なんてん (葉)	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 12.2 ^(E1) 圃場B : 0.78 ^(E1)	圃場A : 5.00/-/- 圃場B : 0.32/-/-	◎

- : 分析せず
SC : フロアブル
WP : 水和剤
WG : 顆粒水和剤
GR : 粒剤
DS : 粉剤

(田)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

(S)同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。基準値の設定の根拠に○、暴露評価に使用されているものに△、基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物の測定値がない農作物は以下の方法で総残留濃度を算出した。

#0) 参照可能な補正係数が得られなかったため、各化合物の残留濃度の合計 (総残留濃度) は算出しなかった。

#1) 水稲 (玄米) の作物残留試験成績 (収穫前期間: 21日) より算出した補正係数2.46をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。ただし、総残留濃度の定量限界 (0.05 mg/kg) 未満となる場合は、<0.05とする。

#2) だいこん (葉) の作物残留試験成績 (収穫前期間: 42日) より算出した補正係数12.0をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

#3) なすの作物残留試験成績 (収穫前期間: 1日) より算出した補正係数1.26をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。ただし、総残留濃度の定量限界 (0.05 mg/kg) 未満となる場合は、<0.05とする。

#4) なすの作物残留試験成績 (収穫前期間: 3日) より算出した補正係数1.59をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

#5) きゅうりの定植時植穴処理の作物残留試験成績 (収穫期間38~51日) より、総残留濃度は<0.05とした。

#6) ブロッコリーの作物残留試験成績 (収穫前期間: 3日) より算出した補正係数1.60をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

#7) ブロッコリーの作物残留試験成績 (収穫前期間: 7日) より算出した補正係数2.37をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

#8) ほうれんそうの作物残留試験成績 (収穫前期間: 1日) より算出した補正係数1.12をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

ただし、総残留濃度の定量限界 (0.05 mg/kg) 未満となる場合は、<0.05とする。

#9) ほうれんそうの作物残留試験成績 (収穫前期間: 3日) より算出した補正係数1.24をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

#10) ほうれんそうの作物残留試験成績 (収穫前期間: 7日) より算出した補正係数1.64をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

#11) ほうれんそうの作物残留試験成績 (収穫前期間: 14日) より算出した補正係数2.44をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

ただし、総残留濃度の定量限界 (0.05 mg/kg) 未満となる場合は、<0.05とする。

#12) りんごの作物残留試験成績 (収穫前期間: 21日) より算出した補正係数3.20をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

ただし、総残留濃度の定量限界 (0.05 mg/kg) 未満となる場合は、<0.05とする。

#13) りんごの作物残留試験成績 (収穫前期間: 30日) より算出した補正係数4.13をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

#14) JMPR (2002年) のオレンジの作物残留試験成績 (収穫前期間: 14日及び15日) より算出した補正係数2.3をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

#15) ぶどうの作物残留試験成績 (収穫前期間: 21日) より算出した補正係数1.37をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

#16) ばれいしょの作物残留試験成績 (収穫前期間: 14日) より算出した補正係数1.49をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

ただし、総残留濃度の定量限界 (0.05 mg/kg) 未満となる場合は、<0.05とする。

#17) JMPR (2002年) の仁果類 (Pome fruits) の作物残留試験成績 (収穫前期間: 7日) より算出した補正係数1.69をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

ただし、総残留濃度の定量限界 (0.05 mg/kg) 未満となる場合は、<0.05とする。

#18) JMPR (2002年) の核果類 (Stone fruits) の作物残留試験成績 (収穫前期間: 14日) より算出した補正係数2.18をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

ただし、総残留濃度の定量限界 (0.05 mg/kg) 未満となる場合は、<0.05とする。

#19) JMPR (2002年) のピーマンの作物残留試験成績 (点滴灌漑、収穫前期間: 56日) より算出した補正係数5をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

#20) JMPR (2002年) のオレンジの果皮の作物残留試験成績 (収穫前期間: 14日及び15日) より算出した補正係数1.45をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

#21) JMPR (2002年) のオレンジの果肉の作物残留試験成績 (収穫前期間: 15日) より算出した補正係数1.67をイミダクロプリドの濃度に掛けて総残留濃度を算出した。

ただし、総残留濃度の定量限界 (0.05 mg/kg) 未満となる場合は、<0.05とする。

注1) イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物の合計濃度 (イミダクロプリドに換算した値) を示した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

6-クロロピリジル基を有する代謝物の代謝物M01及び代謝物M04の残留濃度は、イミダクロプリドに換算した値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。

注3) 作物残留試験において測定した果肉及び果皮の重量比のデータから、果実全体の残留濃度を算出した。

注4) 種子の重量割合が不明のため、作物残留試験等のデータから、種子8%として果実全体の残留濃度を算出した。また、種子の残留濃度は測定していないことから残留していないものとして算出した。

(†):再評価において、ブロッコリーについては、作物残留試験の例数が増えたもの。ほうれんそうについては、適用の範囲及び使用方法の変更並びに作物残留試験の例数が増えたもの。

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件			総イミダクロプリドの残留濃度 (mg/kg) ^{注1)}	設定の根拠等 ^{注3)}	
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数
大豆 (子実)	3	48.7% SC	10.0 oz ai/cwt (100ポンド種子) (6.25 g ai/kg種子) 種子塗沫	1	115	圃場A : 0.455 (#)	△
					176	圃場B : 0.16 (#)	
					104	圃場C : 0.48 (#)	
	21	40.7% (480 g/L)SC	0.25 lb ai/cwt (2.50 g ai/kg種子) 種子塗沫 + 0.142 lb ai/acre (0.159 kg ai/ha) 散布	1+3	19	圃場A : 0.207 (#)	
					20	圃場B : 0.382 (#)	
					21	圃場C : 0.674 (#)	
					19	圃場D : 0.376 (#)	
					20	圃場E : 0.182 (#)	
					21	圃場F : 0.107 (#)	
					20	圃場G : 0.193 (#)	
					20	圃場H : 0.428 (#)	
					19	圃場I : 0.483 (#)	
					21	圃場J : 0.630 (#)	
					20	圃場K : 1.49 (#)	
					21	圃場L : 0.605 (#)	
					21	圃場M : 0.734 (#)	
					32	圃場N : 0.027 (#)	
21	圃場O : 1.49 (#)						
21	圃場P : 0.617 (#)						
21	圃場Q : 0.052 (#)						
25	圃場R : 0.052 (#)						
25	圃場S : 0.094 (#)						
7, 14, 21, 28, 34	圃場T : 0.050 (4回, 21日) (#)						
8, 14, 20, 27, 34	圃場U : 0.040 (4回, 8日) (#)						
いんげん (子実)	8	40.7% SC +21.4% SC +17.4% SC	4.0 oz ai/cwt (2.50 g ai/kg種子) 種子塗沫 +0.375 lb ai/acre (0.42 kg ai/ha) 畝処理 +0.132 lb ai/acre (0.15 kg ai/ha) 散布	1+1+3	6	圃場A : 0.589 (#)	△
					6	圃場A : 0.693 (#)	△
					7	圃場B : 0.711	△
						圃場C : 0.205	△
						圃場D : 0.990	△
						圃場E : 0.7885	△
	8	圃場F : 0.126	△				
		圃場G : 0.248	△				
	1	40.7% SC +21.4% SC +17.4% SC	4.0 oz ai/cwt (2.50 g ai/kg種子) 種子塗沫 +0.108 lb ai/acre (0.12 mg ai/ha) 畝処理 +0.132 lb ai/acre (0.15 kg ai/ha) 散布	1+1+3	6	圃場A : 0.211 (#)	△
					7	圃場A : 0.126 (#)	
えんどう (子実)	4	40.7% SC +21.4% SC +17.4% SC	4.0 oz ai/cwt (2.50 g ai/kg種子) 種子塗沫 +0.375 lb ai/acre (0.42 kg ai/ha) 畝処理 +0.132 lb ai/acre (0.15 kg ai/ha) 散布	1+1+3	8	圃場A : 0.123	
					8	圃場B : 0.272	
					3, 7, 13	圃場C : 0.826 (5回, 13日)	
					7	圃場C : 0.688	
						圃場C : 0.825	
						圃場D : 0.180	

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件			総イミダクロプリドの残留濃度 (mg/kg) ^{注1)}	設定の根拠等 ^{注3)}	
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数
にんじん (根部)	6	21.4% SC +17.4% SC	0.630 lb ai/acre (0.71 kg ai/ha) 敵処理 +0.130 lb ai/acre (0.15 kg ai/ha) 散布	1+3	7	圃場A : 0.0826 (#)	
			0.375 lb ai/acre (0.42 kg ai/ha) 敵処理 +0.131~0.178 lb ai/acre (0.15~0.20 kg ai/ha) 散布	1+4		圃場B : <0.05 (#)	
				1+3	7	圃場C : <0.05	
					7	圃場D : <0.05	
					7	圃場E : <0.05	
					6	圃場F : <0.05 (#)	
ビート [カエンサイ] (根部)	5	21.4% SC +17.4% SC	0.375 lb ai/acre (0.42 kg ai/ha) 敵処理 +0.115~0.132 lb ai/acre (0.13~0.15 kg ai/ha) 散布	1+3	6	圃場A : 0.256 (#)	
					8	圃場B : 0.292	
					7	圃場C : 0.294	
					8	圃場D : <0.100	
					7	圃場E : <0.100	
ビート [カエンサイ] (葉部)	5	21.4% SC +17.4% SC	0.375 lb ai/acre (0.42 kg ai/ha) 敵処理 +0.115~0.132 lb ai/acre (0.13~0.15 kg ai/ha) 散布	1+3	6	圃場A : 2.125 (#)	△
					8	圃場B : 1.40	
					7	圃場C : 3.40	
					8	圃場D : 2.98	
					7	圃場E : 2.96	
ラディッシュ (根部)	5	21.4% SC +17.4% SC	0.612 lb ai/acre (0.69 kg ai/ha) 敵処理 +0.044 lb ai/acre (0.05 kg ai/ha) 散布	1+1	8	圃場A : <0.05 (#)	
			0.375 lb ai/acre (0.42 kg ai/ha) 敵処理 +0.044 lb ai/acre (0.05 kg ai/ha) 散布		7	圃場B : 0.123 圃場C : <0.05	
					3, 7, 12	圃場D : <0.05 (2回, 7日)	
					6	圃場E : <0.05 (#)	
ラディッシュ (葉部)	5	21.4% SC +17.4% SC	0.612 lb ai/acre (0.69 kg ai/ha) 敵処理 +0.044 lb ai/acre (0.05 kg ai/ha) 散布	1+1	8	圃場A : 1.787 (#)	
			0.375 lb ai/acre (0.42 kg ai/ha) 敵処理 +0.044 lb ai/acre (0.05 kg ai/ha) 散布		7	圃場B : 2.736 圃場C : 0.692	
					3, 7, 12	圃場D : 0.503 (2回, 7日)	
					6	圃場E : 0.574 (#)	

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件			総イミダクロプリドの残留濃度 (mg/kg) ^{注1)}	設定の根拠等 ^{注3)}	
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数
ばれいしょ (塊茎)	15	2.5% GR +21.4% (240 g/L) SC	0.26~0.36 lb ai/acre (0.118~0.163 kg ai/ha, 0.03 g ai/m(列)) 植付時畝処理 +0.04~0.05 lb ai/acre (0.018~0.023 kg ai/ha) 散 布	1+4	7, 14, 21, 28	圃場A: <0.05 (5回, 7日) (#)	△
						圃場B: <0.05 (5回, 7日) (#)	△
						圃場C: 0.28 (5回, 14日) (#)	△
						圃場D: <0.05 (5回, 7日) (#)	△
						圃場E: <0.05 (5回, 7日) (#)	△
						圃場F: <0.05 (5回, 7日) (#)	△
						圃場G: <0.05 (5回, 7日) (#)	△
						圃場H: 0.05 (5回, 7日) (#)	△
						圃場I: <0.05 (5回, 7日) (#)	△
						圃場J: <0.05 (5回, 7日) (#)	△
						圃場K: 0.07 (5回, 7日) (#)	△
						圃場L: <0.05 (5回, 7日) (#)	△
						圃場M: 0.13 (5回, 7日) (#)	
						圃場N: <0.05 (5回, 7日) (#)	△
						圃場O: 0.05 (5回, 14日) (#)	△
	圃場H: 0.05 (5回, 14日) (#)						
	圃場I: <0.05 (5回, 7日) (#)						
圃場L: <0.05 (5回, 7日) (#)							
圃場M: 0.16 (5回, 7日) (#)	△						
	3	21.4% SC	0.29~0.30 lb ai/acre (0.325 ~0.336kg ai/ha) 畝処理	1	71	圃場A: 0.06	
					113	圃場B: 0.02	
					111	圃場C: 0.14	
ほうれんそう (Group 4A)	2	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 播溝処理 +0.1 lb ai/acre (0.112 kg ai/ha) 散布	1+2	0, 6, 13	圃場A: 4.22 (2回, 6日) (#)	△
					0, 7, 14	圃場B: 2.09 (2回, 7日) (#)	
レタス (茎葉) (外葉有り) (Group 4A)	12	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注 +0.22 lb ai/acre (0.224 kg ai/ha) 散布	1+2	0, 7, 14	圃場A: 1.68 (3回, 7日) (#)	
						圃場B: 0.59 (3回, 7日) (#)	
						圃場C: 0.67 (3回, 7日) (#)	
						圃場D: 2.13 (3回, 7日) (#)	
						圃場E: 0.67 (3回, 7日) (#)	
						圃場F: 0.32 (3回, 7日) (#)	
						圃場G: 0.60 (3回, 7日) (#)	
						圃場H: 1.27 (3回, 7日) (#)	
						圃場I: 0.57 (3回, 7日) (#)	
						圃場J: 0.73 (3回, 7日) (#)	
	圃場K: 0.31 (3回, 7日) (#)						
	圃場L: 0.99 (3回, 14日) (#)						
	11	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注	1	29	圃場A: 0.38 (#)	
					40	圃場B: <0.05 (#)	
2.5% GR		0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 植溝土壤処理	94	圃場C: <0.05 (#)			
			77	圃場D: 0.14 (#)			
21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 植溝土壤処理	133	圃場E: <0.05 (#)				
		77	圃場F: 0.14 (#)				
2.5% GR	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	133	圃場G: <0.05 (#)				
		28	圃場H: 0.06 (#)				
21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	91	圃場I: <0.05 (#)				
		27	圃場J: 0.12 (#)				
91	圃場K: <0.05 (#)						

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件			総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg) ^{注1)}	設定の根拠等 ^{注3)}
		剤型	使用量・使用方法	回数		
レタス (茎葉) (外葉無し) (Group 4A)	12	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注 + 0.2 lb ai/acre (0.224 kg ai/ha) 散布	1+2	0, 7, 14	圃場A : 0.72 (3回, 7日) (#)
						圃場B : 0.15 (3回, 14日) (#)
						圃場C : 0.15 (3回, 7日) (#)
						圃場D : 0.58 (3回, 7日) (#)
						圃場E : 0.08 (3回, 14日) (#)
						圃場F : 0.07 (3回, 7日) (#)
						圃場G : 0.12 (3回, 7日) (#)
						圃場H : 0.38 (3回, 7日) (#)
						圃場I : 0.20 (3回, 14日) (#)
						圃場J : 0.16 (3回, 7日) (#)
	圃場K : 0.10 (3回, 7日) (#)					
	圃場L : 0.12 (3回, 7日) (#)					
	11	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注	1	29	圃場A : 0.09 (#)
						40
94						圃場C : <0.05 (#)
77						圃場D : <0.05 (#)
133						圃場E : <0.05 (#)
77						圃場F : <0.05 (#)
11	2.5% GR	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 植溝土壤処理	1	133	圃場G : <0.05 (#)	
					28	圃場H : <0.05 (#)
					91	圃場I : <0.05 (#)
					27	圃場J : 0.05 (#)
11	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	1	91	圃場K : <0.05 (#)	
					91	圃場L : <0.05 (#)
リーフレタス (茎葉) (Group 4A)	12	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注 + 0.2 lb ai/acre (0.224 kg ai/ha) 散布	1+2	0, 7, 14	圃場A : 2.49 (3回, 7日) (#)
						圃場B : 1.46 (3回, 7日) (#)
						圃場C : 2.25 (3回, 7日) (#)
						圃場D : 2.18 (3回, 7日) (#)
						圃場E : 0.10 (3回, 14日) (#)
						圃場F : 1.24 (3回, 7日) (#)
						圃場G : 1.47 (3回, 7日) (#)
						圃場H : 0.92 (3回, 7日) (#)
						圃場I : 0.95 (3回, 7日) (#)
						圃場J : 0.54 (3回, 7日) (#)
	圃場K : 2.61 (3回, 14日) (#)					
	圃場L : 2.42 (3回, 7日) (#)					
	13	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注	1	36	圃場A : 0.62 (#)
						13
43						圃場C : 0.50 (#)
39						圃場D : 0.14 (#)
68						圃場E : 0.40 (#)
63						圃場F : 0.40 (#)
13	2.5% GR	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 植溝土壤処理	1	85	圃場G : 0.24 (#)	
					68	圃場H : 0.70 (#)
					63	圃場I : 0.29 (#)
					85	圃場J : 0.32 (#)
13	2.5% GR	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	1	27	圃場K : 0.64 (#)	
					13	圃場L : 0.86 (#)
					43	圃場M : <0.05 (#)
					27	圃場A : 0.84 (#)
13	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	1	12	圃場B : 0.70 (#)	
					43	圃場D : 0.05 (#)

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg) ^{注1)}	設定の根拠等 ^{注3)}
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
キャベツ (茎葉) (外葉有り) (Group 5)	13	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注 + 0.22 lb ai/acre (0.246 kg ai/ha) 散布	1+2	0, 7, 14	圃場A : 0.47 (3回, 7日) (#)	△
						圃場B : 1.27 (3回, 14日) (#)	
						圃場C : 3.25 (3回, 14日) (#)	
						圃場D : 1.56 (3回, 7日) (#)	
						圃場E : 0.94 (3回, 7日) (#)	
						圃場F : 0.28 (3回, 7日) (#)	
						圃場G : 0.49 (3回, 14日) (#)	
						圃場H : 0.27 (3回, 7日) (#)	
						圃場I : 0.34 (3回, 7日) (#)	
						圃場J : 0.76 (3回, 7日) (#)	
						圃場K : 0.45 (3回, 7日) (#)	
						圃場L : 0.05 (3回, 7日) (#)	
						圃場M : 0.27 (3回, 7日) (#)	
	16	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注	1	47	圃場A : 0.26 (#)	
					40	圃場B : 0.19 (#)	
		64	圃場C : <0.05 (#)				
		51	圃場D : 0.30 (#)				
		92	圃場E : 0.25 (#)				
		86	圃場F : 0.06 (#)				
21.4% SC	2.5% GR	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 植溝土壤処理	104	圃場G : 0.07 (#)			
			92	圃場H : 0.20 (#)			
	2.5% GR	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	86	圃場I : 0.05 (#)			
			104	圃場J : 0.07 (#)			
21.4% SC	2.5% GR	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	56	圃場K : 0.37 (#)			
			41	圃場L : 0.14 (#)			
	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	72	圃場M : <0.05 (#)			
			56	圃場N : 0.34 (#)			
			40	圃場O : 0.20 (#)			
			72	圃場P : <0.05 (#)			

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg) ^{注1)}	設定の根拠等 ^{注3)}
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
キャベツ (茎葉) (外葉無し) (Group 5)	13	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注 +0.22 lb ai/acre (0.246 kg ai/ha) 散布	1+2	0, 7, 14	圃場A : 0.09 (3回, 7日) (#)	
						圃場B : 0.27 (3回, 14日) (#)	
						圃場C : 0.94 (3回, 14日) (#)	
						圃場D : 0.16 (3回, 7日) (#)	
						圃場E : 0.16 (3回, 14日) (#)	
						圃場F : 0.11 (3回, 7日) (#)	
						圃場G : 0.07 (3回, 7日) (#)	
						圃場H : <0.05 (3回, 7日) (#)	
						圃場I : 0.17 (3回, 7日) (#)	
						圃場J : 0.16 (3回, 7日) (#)	
						圃場K : 0.17 (3回, 14日) (#)	
						圃場L : <0.05 (3回, 7日) (#)	
						圃場M : 0.12 (3回, 14日) (#)	
		21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注	1	47	圃場A : 0.08 (#)	
					40	圃場B : 0.12 (#)	
					64	圃場C : 0.06 (#)	
					51	圃場D : 0.25 (#)	
					92	圃場E : 0.11 (#)	
					86	圃場F : <0.05 (#)	
	2.5% GR	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 植溝土壤処理	1	104	圃場G : <0.05 (#)		
				92	圃場H : 0.06 (#)		
				86	圃場I : 0.09 (#)		
				104	圃場J : 0.05 (#)		
	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 植溝土壤処理	1	56	圃場K : 0.09 (#)		
				41	圃場L : 0.09 (#)		
				72	圃場M : <0.05 (#)		
	2.5% GR	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	1	56	圃場N : 0.14 (#)		
				40	圃場O : <0.05 (#)		
	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	1	72	圃場P : <0.05 (#)		

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg) ^{注1)}	設定の根拠等 ^{注3)}
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ブロッコリー (花蕾及び茎) (Group 5)	12	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注 +0.22 lb ai/acre (0.246 kg ai/ha) 散布	1+2	0, 7, 14	圃場A : 0.19 (3回, 14日) (#)	
						圃場B : 0.18 (3回, 7日) (#)	
						圃場C : 0.25 (3回, 7日) (#)	
						圃場D : 0.33 (3回, 7日) (#)	
						圃場E : 0.62 (3回, 7日) (#)	
						圃場F : 0.32 (3回, 14日) (#)	
						圃場G : 2.25 (3回, 7日) (#)	
						圃場H : 0.49 (3回, 14日) (#)	
						圃場I : 0.38 (3回, 14日) (#)	
						圃場J : 0.63 (3回, 7日) (#)	
						圃場K : 0.10 (3回, 7日) (#)	
						圃場L : 0.41 (3回, 7日) (#)	
	16	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注	1	32	圃場A : 0.20 (#)	
					37	圃場B : 0.20 (#)	
		36	圃場C : <0.05 (#)				
		50	圃場D : <0.05 (#)				
		92	圃場E : 0.24 (#)				
		85	圃場F : <0.05 (#)				
		78	圃場G : <0.05 (#)				
21.4% SC	2.5% GR	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 植溝土壤処理	92	圃場H : 0.42 (#)			
			85	圃場I : 0.06 (#)			
	78	圃場J : <0.05 (#)					
	42	圃場K : 0.33 (#)					
	56	圃場L : 0.22 (#)					
2.5% GR	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	17	圃場M : <0.05 (#)				
		56	圃場N : 0.06 (#)				
21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	38	圃場O : 0.15 (#)				
		17	圃場P : <0.05 (#)				

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件			総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg) ^{注1)}	設定の根拠等 ^{注3)}
		剤型	使用量・使用方法	回数		
カリフラワー (花蕾) (Group 5)	12	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注 +0.22 lb ai/acre (0.246 kg ai/ha) 散布	1+2	0, 7, 14	圃場A : 0.11 (3回, 14日) (#)
						圃場B : <0.05 (3回, 7日) (#)
						圃場C : 0.27 (3回, 7日) (#)
						圃場D : 0.14 (3回, 7日) (#)
						圃場E : 0.16 (3回, 14日) (#)
						圃場F : 0.13 (3回, 7日) (#)
						圃場G : 0.09 (3回, 7日) (#)
						圃場H : 0.11 (3回, 7日) (#)
						圃場I : 0.34 (3回, 7日) (#)
						圃場J : 0.09 (3回, 14日) (#)
						圃場K : 0.23 (3回, 7日) (#)
						圃場L : 0.60 (3回, 14日) (#)
	16	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注	1	151	圃場A : 0.24 (#)
					47	圃場B : 0.14 (#)
		2.5% GR	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 植溝土壤処理	1	38	圃場C : 0.20 (#)
					50	圃場D : 0.125 (#)
		21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 植溝土壤処理	1	152	圃場E : 0.09 (#)
					91	圃場F : <0.05 (#)
		2.5% GR	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	1	82	圃場G : 0.07 (#)
152	圃場H : 0.05 (#)					
91	圃場I : <0.05 (#)					
21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	1	82	圃場J : 0.06 (#)		
			116	圃場K : 0.09 (#)		
			41	圃場L : 0.06 (#)		
21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m) 側条土壤処理	1	50	圃場M : 0.08 (#)		
			116	圃場N : 0.10 (#)		
			47	圃場O : 0.12 (#)		
セロリ (茎葉) (Group 4B)	6	21.4% SC	0.50 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 灌注	1	46	圃場A : 4.31 (#)
					43	圃場B : 0.42 (#)
					45	圃場C : 0.13 (#)
					43	圃場D : 0.13 (#)
					45	圃場E : 0.57 (#)
					46	圃場F : 1.00 (#)
	3	21.4% SC	0.50 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 側条施用	1	45	圃場A : 2.83 (#)
					43	圃場B : 0.78 (#)
					45	圃場C : 5.62 (#)
	3	21.4% SC	0.50 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 畝処理	1	97	圃場A : 1.24 (#)
					81	圃場B : 0.38 (#)
					103	圃場C : 1.36 (#)

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件			総イミダクロプリドの残留濃度 (mg/kg) ^{注1)}	設定の根拠等 ^{注3)}	
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数
アーティチョーク (花蕾)	3	21.4% SC	0.50 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 散布	2	7 圃場A: 1.552 圃場B: 1.008 圃場C: 1.606	△	
りんご (果実)	13	21.4% SC	0.67 oz ai/acre (0.04 lb ai/acre) 散布	5	6, 13, 20, 29	圃場A: 0.11 (5回, 20日) (#)	
					7, 14, 21, 30	圃場B: 0.09 (#)	
						圃場C: <0.05 (#)	
						圃場D: 0.14 (5回, 30日) (#)	
					7, 14, 21, 30	圃場F: <0.05 (#)	
						圃場G: <0.05 (#)	
					7, 14, 21, 30	圃場H: <0.05 (#)	
						圃場I: 0.07 (#)	
					7, 14, 21, 30	圃場J: 0.08 (#)	
					7, 14, 21, 30	圃場K: 0.24 (5回, 30日) (#)	
					7, 14, 21, 30	圃場L: <0.05 (#)	
					7, 14, 21, 30	圃場I: <0.05 (#)	
なし (果実)	6	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 散布	2	0, 7, 14, 21	圃場A: 0.33 (#)	△
					0, 7, 14, 21	圃場B: 0.18 (#)	
					0, 7, 14, 21	圃場B: 0.22 (#)	△
					0, 7, 14, 21	圃場C: 0.22 (#)	△
					0, 7, 14, 21	圃場D: 0.25 (#)	△
					0, 7, 14, 21	圃場E: 0.32 (#)	△
おうとう (酸味) (果実)	4	17.4% SC	0.1 lb ai/acre (0.112 kg ai/ha) 散布	5	6	圃場A: 2.544 (#)	
					0, 3, 7, 14	圃場B: 1.069 (5回, 7日) (#)	
					7	圃場C: 1.458 (#)	
					7	圃場D: 0.929 (#)	
おうとう (甘味) (果実)	8	17.4% SC	0.1 lb ai/acre (0.112 kg ai/ha) 散布	5	7	圃場A: 0.342 (#)	△
					7	圃場B: 0.426 (#)	
					8	圃場C: 0.243 (#)	
					7	圃場D: 0.362 (#)	
					7	圃場E: 0.278 (#)	
				6	7	圃場F: 0.615 (#)	
					7	圃場G: 0.596 (#)	
					7	圃場H: 0.630 (#)	
パパイヤ (果実)	3	17.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 散布	5	5	圃場A: 0.22 (#)	△
					0, 6, 14, 21	圃場B: 0.51 (5回, 14日)	
					7	圃場C: 0.19	
グアバ (果実)	2 ^{注2)}	17.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 散布	5	14	圃場A: 0.264	
					14	圃場B: 0.124	
					15	圃場A: 0.375	
					15	圃場B: 0.277	

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg) ^{注1)}	設定の根拠等 ^{注3)}
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ひまわり(種子)	4	40.7% SC	16.8 oz ai/cwt(100ポンド種子) (10.5 g ai/kg種子) 種子塗沫	1	129	圃場A : <0.05(#)	
					141	圃場B : <0.05(#)	
					143	圃場C : <0.05(#)	
					119	圃場D : <0.05(#)	
	2	84.0 oz ai/cwt (52.5 g ai/kg種子) 種子塗沫	131	圃場A : <0.05(#)			
			143	圃場B : <0.05(#)			
綿実(種子)	3	21.4% SC +21.4% SC +21.4% SC	250g ai/100 kg種子 (2.5 g ai/kg種子) 種子塗沫 +4.3~4.8 oz ai/acre (0.27~0.30 lb ai/acre) (0.301~0.336 kg ai/ha) 畝処理 +7.6 oz ai/acre (0.48 lb ai/acre) (0.532 kg ai/ha) 散布	1+1+2	7, 14, 21	圃場A : 0.22(4回, 21日) (#)	△
						圃場B : 0.41(4回, 21日) (#)	△
						圃場C : 0.20(4回, 21日) (#)	△
	6	21.4% SC +2.5% GR +21.4% SC	250g ai/100 kg種子 (2.5 g ai/kg種子) 種子塗沫 +4.3~4.8 oz ai/acre (0.27~0.30 lb ai/acre) (0.301~0.336 kg ai/ha) 畝処理 +7.6 oz ai/acre (0.48 lb ai/acre) (0.532 kg ai/ha) 散布	1+1+2		圃場D : 2.32(4回, 21日) (#)	△
						圃場E : 0.20(4回, 14日) (#)	
						圃場F : 2.51(4回, 21日) (#)	
	4	21.4% SC +2.5% GR +21.4% SC	250 g ai/100 kg種子 (2.5 g ai/kg種子) 種子塗沫 +4.3~4.8 oz ai/acre (0.27~0.30 lb ai/acre) (0.301~0.336 kg ai/ha) 畝処理 +7.6 oz ai/acre (0.48 lb ai/acre) (0.532 kg ai/ha) 散布	1+1+2	圃場A : 0.18(4回, 21日) (#)		
					圃場B : 0.36(4回, 14日) (#)		
					圃場C : 0.17(4回, 21日) (#)		
	3	21.4% SC +21.4% SC +21.4% SC	250 g ai/100 kg種子 (2.5 g ai/kg種子) 種子塗沫 +4.3~4.8 oz ai/acre (0.27~0.30 lb ai/acre) (0.301~0.336 kg ai/ha) 畝処理 +7.6 oz ai/acre (0.48 lb ai/acre) (0.532 kg ai/ha) 散布	1+1+2	8, 15, 22	圃場A : 2.00(4回, 22日) (#)	△
					7, 14, 21	圃場B : 0.19(4回, 21日) (#)	
						圃場C : 0.44(4回, 14日) (#)	
	4	21.4% SC +21.4% SC +21.4% SC	250 g ai/100 kg種子 (2.5 g ai/kg種子) 種子塗沫 +4.3~4.8 oz ai/acre (0.27~0.30 lb ai/acre) (0.301~0.336 kg ai/ha) 畝処理 +7.6 oz ai/acre (0.48 lb ai/acre) (0.532 kg ai/ha) 散布	1+1+2	7, 14, 21	圃場B : 0.21(4回, 21日) (#)	△
						圃場C : 0.55(4回, 14日) (#)	△
圃場D : 0.83(4回, 21日) (#)						△	
3	21.4% SC +21.4% SC +21.4% SC	250 g ai/100 kg種子 (2.5 g ai/kg種子) 種子塗沫 +0.03 g ai/m (条) 畝処理 +7.5 fl oz 製剤/acre (0.525 kg ai/ha) 散布	1+1+2	20	圃場A : <1.00(#)	△	
				13	圃場B : <1.00(#)	△	
				14	圃場C : <1.00(#)	△	

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件			総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg) ^{注1)}	設定の根拠等 ^{注3)}
		剤型	使用量・使用方法	回数		
なたね (種子)	6	40.7% SC	16 oz ai/cwt (10 g ai/kg種子) 種子塗沫	1	199	圃場A: <0.05(#) 圃場B: <0.05(#) 圃場C: <0.05(#) 圃場D: <0.05(#) 圃場E: <0.05(#) 圃場F: <0.05(#)
					288	
					277	
					129	
					112	
					146	
ペカン (可食部)	6	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壌処理	1	150	圃場A: <0.05 圃場B: <0.05 圃場C: <0.05 圃場D: <0.05 圃場E: <0.05 圃場F: <0.05
					150	
					109	
					127	
					115	
					102	
	5	21.4% SC	0.17 lb ai/acre (0.19 kg ai/ha) 散布	2	31	圃場A: <0.05(#) 圃場B: <0.05(#) 圃場C: <0.05(#) 圃場D: <0.05(#) 圃場E: <0.05(#) 圃場E: <0.05(#)
					20	
					4	
					21	
					17	
					8	
5	17.4% SC	0.34~0.36 lb ai/acre (0.38~0.40 kg ai/ha) 散布	2	0, 7, 14, 21	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01 圃場C: <0.01 圃場D: 0.01 圃場E: <0.01	
				7		
				7		
				7		
アーモンド (可食部)	5	17.4% SC	0.34~0.36 lb ai/acre (0.38~0.40 kg ai/ha) 散布	2	0, 7, 14, 21	圃場A: <0.01(#) 圃場B: <0.01(#) 圃場C: <0.01(#) 圃場D: <0.01(#) 圃場E: <0.01(#)
					7	
					7	
					7	

SC:フロアブル

GR:粒剤

-:分析せず

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

暴露評価にも使用されているものに△で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

注1) イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を含む代謝物をイミダクロプリドに換算したもの(総イミダクロプリド)。

注2) グアバについて、これらの作物残留試験は同一圃場同一時期で実施されているが、試験で使用されている作物の品種が異なることから独立の圃場とみなされている。

注3) 米国環境保護庁(EPA)は、企業から提出された作物残留試験成績を審査し、使用方法及びこれに対応する残留濃度を総合的に評価し、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物を規制対象とする米国基準設定の根拠としている。

消費者庁は、IT申請がなされた作物について、EPAの審査結果*を適切なものであると判断した。

米国基準値は、国内の規制対象であるイミダクロプリドに換算するため、国内の作物残留試験成績等から係数を割り出し、乗じる値として採用している。

(*:EPA archive document PP#3F04169/3H05655, PP#3F4231, PP#5F4480/FAP5H5723及びPP#6F04765 (1993~1994))

当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について()内に記載した。

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表(EU)

農作物	試験 圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度の 合計 (mg/kg) ^(注1)	残留濃度 (mg/kg) ^(注2) 【イミダクロプリド/イミダクロプリド及び 6-クロロピリジル基を有する代謝物】	設定の 根拠等	
		剤型	使用量・使用方法	回数				経過日数
カカオ豆 (種子)	4	200 g/L SL	0.123~0.126 kg ai/ha 散布	4	0, 1, 3	圃場A : <0.05 (4回, 3日)	圃場A : *0.011/*<0.05 (*4回, 3日)	◎
					0, 1, 3	圃場B : <0.05 (4回, 1日)	圃場B : *0.017/*<0.05 (*4回, 1日)	
					0, 1, 3, 7, 14, 20	圃場C : 0.069 (4回, 7日)	圃場C : *0.037/*0.069 (*4回, 7日)	
					0, 1, 3, 7, 14, 20	圃場D : 0.051 (4回, 20日)	圃場D : *0.030/*0.051 (*4回, 20日)	

SL : 液剤

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物の合計濃度 (イミダクロプリドに換算した値) を示した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。

食品名	基準値案 ppm	基準値* 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.08	1	○			<0.005~0.041(n=6)
小麦	0.2	0.2	○	0.05 \$		<0.005, 0.028(¥)
大麦	0.02	0.04		0.05 \$		\$ 1
ライ麦	0.02	0.04		0.05 \$		\$ 1
とうもろこし	0.02	0.05		0.05 \$		\$ 1
そば	0.02	0.04		0.05 \$		\$ 1
その他の穀類	3	3	○	0.05 \$		1.07, 1.30(¥)(キノア)
大豆	2	3		3 \$	3.5 \$ 米国	【0.027~1.49(#)(n=21)(米国)】 \$ 9
小豆類	2	3		2 \$	4.0 \$ 米国	【0.126~0.990(#)(n=9)(米国いんげん)】 \$ 9
えんどう	2	3		2 \$	4.0 \$ 米国	【小豆類参照】
そら豆	2	3		2 \$	4.0 \$ 米国	【小豆類参照】
らっかせい	0.5	0.7		1 \$		\$ 1
その他の豆類	2	3		2 \$	4.0 \$ 米国	【小豆類参照】
ばれいしょ	0.3	0.4	○	0.5 \$		\$ 2
さといも類(やつがしらを含む。)	0.3	0.4	○	0.5 \$		\$ 2
かんしょ	0.3	0.4	○	0.5 \$		\$ 2
やまいも(長いもをいう。)	0.3	0.4	○	0.5 \$		\$ 2
こんにゃくいも	0.3	0.4	○	0.5 \$		\$ 2
その他のいも類	0.3	0.4	○	0.5 \$		\$ 2
てんさい	0.3	0.4	○	0.5 \$		\$ 2
さとうきび		0.04		0.5 \$		\$ 2
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.3	0.4	○	0.5 \$		\$ 2
だいこん類(ラディッシュを含む。)	3	4	○	5 \$		\$ 3
かぶ類の根	0.3	0.4	○	0.5 \$		\$ 2
かぶ類の葉	2	3	○		4.0 \$ 米国	【1.40~3.40(#)(n=5)(米国ビート葉部)】 \$ 10
西洋わさび	0.3	0.4		0.5 \$		\$ 2
クレソン	2	3			3.5 \$ 米国	【2.5, 4.22(#)(米国ほうれんそう)】 \$ 10
はくさい	2	0.5	○・申・IT		3.5 \$ 米国	【0.05~3.25(#)(n=13)(米国キャベツ外葉あり)】 \$ 10
キャベツ	2	0.5	○・申・IT	0.5 \$	3.5 \$ 米国	【はくさい参照】
芽キャベツ	2	0.5	○・IT	0.5 \$	3.5 \$ 米国	【はくさい参照】
ケール	0.7	5		5 \$		\$ 15
こまつな	2	5	IT		3.5 \$ 米国	【はくさい参照】
きょうな	5	5	○			1.23, 2.175(¥)(みずな)
チンゲンサイ	2	5	IT		3.5 \$ 米国	【はくさい参照】
カリフラワー	2	0.4	IT	0.5 \$	3.5 \$ 米国	【はくさい参照】
ブロッコリー	4	5	○	0.5 \$		0.12~1.72(#)(n=4)
その他のあぶらな科野菜	5	5	○	0.5 \$		0.445, 1.575(¥)(なばな)
ごぼう	0.3	0.4	○	0.5 \$		\$ 2
サルシフィー	0.3	0.4		0.5 \$		\$ 2
アーティチョーク	2	2			2.5 \$ 米国	【1.008, 1.552, 1.606(米国)】 \$ 10
チョコリ	2	3			4.0 \$ 米国	【かぶ類の葉参照】
エンダイブ	5	5	○			2.21, 2.26(¥)
しゅんぎく	2	3			3.5 \$ 米国	【クレソン参照】
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	2	3	○	2 \$		0.15(サラダ菜)、0.2, 0.8(リーフレタス)
その他のさく科野菜	5	5	○	0.5 \$		0.4, 2.6(¥)(すいぜんじな)
たまねぎ	0.05	0.07	○	0.1 \$		<0.01, <0.01(¥)
ねぎ(リーキを含む。)	0.5	0.7	○	0.05 \$		<0.01, 0.15(根深ねぎ)、0.04, 0.22(葉ねぎ)
にら	0.7	0.7	○			0.04, <0.205, 0.295
アスパラガス	0.6	0.7	○			<0.05~0.30(n=4)
わけぎ	2	2	○			0.7, 1.0(¥)
その他のゆり科野菜	0.2	0.2	○			<0.05, <0.05(¥)(にら花茎)
にんじん	0.3	0.4	○	0.5 \$		\$ 2
パースニップ	0.3	0.4		0.5 \$		\$ 2
パセリ	3	3	○			1.3, 1.4(¥)
セロリ	4	4	○	6 \$		\$ 3
みつば	5	5	○			2.50, 2.77(¥)
その他のせり科野菜	4	4	○	0.5 \$	6.0 \$ 米国	【0.13~5.62(n=12)(米国セロリ)】 \$ 10

食品名	基準値案 ppm	基準値* 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
トマト	0.9	2	○	0.5 §		0.09~0.505(＃) (n=5) (トマト、ミニトマト) 0.36~1.435(＃) (n=5) 0.09~0.565(＃) (n=4) 1.2, 1.5 (ししとう)、1.15, 1.5 (伏見甘長とうがらし)
ピーマン	3	3	○	1 §		
なす	1	2	○	0.2 §		
その他のなす科野菜	4	5	○	1 §		
きゅうり (ガーキンを含む。)	1	1	○	1 §		0.15, 0.395(＃) (＃) § 4
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.6	1	○	1 §		
しろうり	0.1	1		0.2 §		§ 4
すいか		0.5	○			
すいか (果皮を含む。)	0.3		○	0.2 §		0.06, 0.065(＃) (＃)
メロン類果実		0.2	○			
メロン類果実 (果皮を含む。)	0.7		○	0.2 §		0.20, 0.24, 0.26(＃)
まくわうり		0.1	○			
まくわうり (果皮を含む。)	0.1		○	0.2 §		§ 4
その他のうり科野菜	1	1	○	0.5 §		0.17, 0.405(＃) (にがうり)
ほうれんそう	9	15	○			0.86~3.90(n=6)
オクラ	0.7	0.7	○	1 §		0.12, 0.21(＃)
しょうが	0.3	0.3		0.40 §	米国	【<0.05~0.28(＃) (n=15) (米国ばれいしょ)】 § 11
未成熟えんどう	3	4	○	5 §		§ 5
未成熟いんげん	2	3	○	2 §	4.0 §	米国
えだまめ	1	3	○			【小豆類参照】 0.30, 0.405, 0.47
その他の野菜		5	○	0.5 §		
その他の野菜(アマランサス(茎葉)、なんてん(葉)、食用かえで(葉)及びふだんそうを除く。)	2	5	○	0.5 §		0.4, 1.0(＃) (モロヘイヤ)
その他の野菜(食用かえで(葉)及びふだんそうに限る。)	5	5	○	0.5 §		2.09, 2.42(＃) (食用かえで(葉))
その他の野菜(アマランサス(茎葉)に限る。)	7	5	○			<0.5, 1.8, 2.9(アマランサス(茎葉))
その他の野菜(なんてん(葉)に限る。)	10	5	申			0.32, 5.00(＃) (なんてん(葉))
みかん		0.3	○			
みかん (外果皮を含む。)	1		○	1 §		0.245, 0.47(＃)
なつみかんの果実全体	0.7	0.7	○	1 §		0.13, 0.225(＃)
レモン	0.7	0.7	○	1 §		0.03(すだち)、0.26(＃) (かぼす)
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	1	0.7	○	1 §		(みかん (外果皮を含む。)) 参照
グレープフルーツ	0.7	0.7	○	1 §		(なつみかんの果実全体参照)
ライム	0.7	0.7	○	1 §		(レモン参照)
その他のかんきつ類果実	1	0.7	○	1 §		(みかん (外果皮を含む。)) 参照
りんご	0.5	0.5	○	0.5 §		0.11, 0.18(＃)
日本なし	0.6	0.7	○	1 §		§ 5
西洋なし	0.6	0.7	○	1 §		§ 5
マルメロ	0.4	0.4			0.6 §	米国
びわ		0.5	○			【0.16~0.33(＃) (n=6) (米国なし)】 § 12
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	4		○			0.17~2.01(n=4)
もも		0.5	○			
もも (果皮及び種子を含む。)	1		○	1.5 §		0.265, 0.365(＃) (＃)
ネクタリン	2	2	○	1.5 §	3.0 §	米国
						【0.929~2.544(＃) (n=4) (米国酸味おうとう)、0.243~0.630(＃) (n=8) (米国甘味おうとう)】 § 13
あんず (アプリコットを含む。)	2	2	○	1.5 §	3.0 §	米国
すもも (プルーンを含む。)	2	2	○	1.5 §	3.0 §	米国
うめ	1	0.3	○	1.5 §		§ 6
おうとう (チェリーを含む。)	2	2		4 §		§ 5
いちご	0.3	0.4	○	0.5 §		§ 5
ラズベリー	3	4		5 §		§ 4
ブラックベリー	3	4		5 §		§ 4
ブルーベリー	3	4		5 §		§ 4
クランベリー	0.01	0.04		0.05 §		§ 7
ハックルベリー	3	4		5 §		§ 4
その他のベリー類果実	3	4		5 §		§ 4

食品名	基準値案 ppm	基準値* 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
ぶどう	3	3	○	1 §		0.208~1.209 (n=4)
かき	1	1	○			0.245, 0.34 (¥)
バナナ	0.04	0.04		0.05 §		§ 6
キウイ	0.2	0.2	○			0.563~6.97 (n=5)
キウイ (果皮を含む。)	15		○			【0.19, 0.22, 0.51 (米国)】 § 12
パパイヤ	0.6	0.7			1.0 § 米国	【パパイヤ参照】
アボカド	0.6	0.7			1.0 § 米国	【0.277, 0.375 (米国)】 § 14
グアバ	0.4	0.7			1.0 § 米国	
マンゴー	1	1	○	0.2 §		0.39, 0.405 (#) (¥)
パッションフルーツ	0.7	0.7	○			0.15, 0.28 (¥)
その他の果実	3	4	○	5 §		§ 4
ひまわりの種子	0.01	0.04		0.05 §		§ 16
ごまの種子	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01 (¥)
べにばなの種子	0.01	0.04		0.05 §		§ 16
綿実	3	4			6.0 § 米国	【0.2~2.51 (#) (n=13) (米国)】 § 9
なたね	0.01	0.04		0.05 §		§ 16
その他のオイルシード	0.02	0.04		0.05 §	0.05 § 米国	【<0.05 (#) (n=6) (米国なたね)】 § 9
ぎんなん	0.05	0.05	○	0.01 §		<0.005, 0.01 (¥)
くり	0.05	0.05	○	0.01 §		<0.01, <0.01 (¥)
ペカン	0.01	0.04		0.01 §		§ 17
アーモンド	0.01	0.04		0.01 §		§ 17
くるみ	0.01	0.04		0.01 §		§ 17
その他のナッツ類	0.01	0.04		0.01 §		§ 17
茶	30	10	○	50 §		§ 18
コーヒー豆	0.6	0.7		1 §		§ 5
カカオ豆	0.05	0.05			0.05 EU	【0.011~0.037 (n=4) (EU)】
ホップ	3	7		10 §		§ 8
その他のスパイス	5	5	○	5 §		0.98, 2.12 (¥) (温州みかん (果皮))
その他のハーブ	15	15	○	20 §		7.8, 9.6 (¥) (やなぎたで)
牛の筋肉	0.3	0.3		0.1	0.30 米国	【推: 0.052】
豚の筋肉	0.3	0.3		0.1	0.30 米国	【牛の筋肉参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.3	0.3		0.1	0.30 米国	【牛の筋肉参照】
牛の脂肪	0.3	0.3		0.1	0.30 米国	【推: 0.030】
豚の脂肪	0.3	0.3		0.1	0.30 米国	【牛の脂肪参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3	0.3		0.1	0.30 米国	【牛の脂肪参照】
牛の肝臓	0.3	0.3		0.3	0.30 米国	【推: 0.227】
豚の肝臓	0.3	0.3		0.3	0.30 米国	【牛の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3	0.3		0.3	0.30 米国	【牛の肝臓参照】
牛の腎臓	0.3	0.3		0.3	0.30 米国	【推: 0.145】
豚の腎臓	0.3	0.3		0.3	0.30 米国	【牛の腎臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.3	0.3		0.3	0.30 米国	【牛の腎臓参照】
牛の食用部分	0.3	0.3		0.3	0.30 米国	【牛の肝臓参照】
豚の食用部分	0.3	0.3		0.3	0.30 米国	【牛の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.3	0.3		0.3	0.30 米国	【牛の肝臓参照】
乳	0.1	0.1		0.1	0.10 米国	【推: 0.060】
鶏の筋肉	0.02	0.02		0.02		推: 0.020
その他の家きんの筋肉	0.02	0.02		0.02		(鶏の筋肉参照)
鶏の脂肪	0.02	0.02		0.02		推: <0.020
その他の家きんの脂肪	0.02	0.02		0.02		(鶏の脂肪参照)
鶏の肝臓	0.06	0.05		0.05		推: 0.063
その他の家きんの肝臓	0.06	0.05		0.05		(鶏の肝臓参照)
鶏の腎臓	0.06	0.05		0.05		(鶏の肝臓参照)
その他の家きんの腎臓	0.06	0.05		0.05		(鶏の肝臓参照)
鶏の食用部分	0.06	0.05		0.05		(鶏の肝臓、腎臓参照)
その他の家きんの食用部分	0.06	0.05		0.05		(鶏の肝臓、腎臓参照)

食品名	基準値案 ppm	基準値* 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
鶏の卵	0.02	0.02		0.02		推: 0.023 (鶏の卵参照)
その他の家きんの卵	0.02	0.02		0.02		
魚介類 (さけ目魚類に限る。)	0.6		IT	0.6		
魚介類 (うなぎ目魚類に限る。)	0.6		IT	0.6		
魚介類 (すずき目魚類に限る。)	0.6		IT	0.6		
魚介類 (その他の魚類に限る。)	0.6		IT	0.6		
はちみつ	0.05					※1
小麦粉 (全粒粉を除く。)				0.03 §		※2
小麦ふすま				0.3 §		※2
とうがらし (乾燥させたもの)				10 §		※2

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

斜線:食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの

○:既に、国内において登録等がされているもの

申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

IT:海外で設定されている基準値を参照するようインポートレランス申請されたもの

(#):適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥):基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

推:推定される残留濃度

※1「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※2加工食品である「小麦粉(全粒粉を除く。）」、「小麦ふすま」及び「とうがらし(乾燥させたもの)」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。なお、本物質について、JMPRは小麦粉(全粒粉を除く。)、小麦ふすま及びとうがらし(乾燥させたもの)の加工係数をそれぞれ0.5、3.5及び7と算出した。

*:「基準値現行」の国際基準及び米国の基準を参考とする食品については、国内の規制対象は、農産物にあってはイミダクロプリド(親化合物のみ)とされているのに対し、米国の基準及び国際基準の規制対象は総イミダクロプリド(イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物)とされている。これらを踏まえ、植物代謝試験データより各作物の換算係数0.7と算出し、国際基準又は米国の基準に換算係数を乗じてそれぞれの基準値を算出した。

§:「参考基準値」の国際基準及び米国の基準に係る農産物の規制対象については、国内の規制対象はイミダクロプリド(親化合物のみ)とされているのに対し、総イミダクロプリド(イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物)とされている。

§1)大麦、ライ麦、とうもろこし、そば及びびらっかせいについては、国内の水稲(玄米)の作物残留試験成績(収穫前日数:21日)より算出した換算係数0.47を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§2)ばれいしょ、さといも類(やつがしらを含む。)、かんしょ、やまいも(長いものをいう。)、こんにやくいも、その他のいも類、てんさい、だいこん類(ラディッシュを含む)の根、かぶ類の根、西洋わさび、ごぼう、サルシフィー、にんじん及びパースニップについては、国内のばれいしょの作物残留試験成績(収穫前日数:14日)より算出した換算係数0.67を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§3)だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉及びセロリについては、国内のほうれんそうの作物残留試験成績(収穫前日数:7日)より算出した換算係数0.61を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§4)かぼちや(スカッシュを含む。)、しろうり、まくわり(果皮を含む。)、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、ハuckleベリー、その他のベリー類果実及びその他の果実については、国内のなすの作物残留試験成績(収穫前日数:3日)より算出した換算係数0.63を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§5)未成熟えんどう、日本なし、西洋なし、おうとう(チェリーを含む。)、いちご及びコーヒー豆については、JMPRの評価書(2002年)の仁果類の作物残留試験成績(収穫前日数:7日)より算出した換算係数0.59を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§6)うめ及びバナナについては、国内のなすの作物残留試験成績(収穫前日数:1日)より算出した換算係数0.82を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§7)クランベリーについては、JMPRの評価書(2002年)のピーマンに係る作物残留試験成績(収穫前日数:56日)より算出した換算係数0.2を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§8)ホップについては、JMPRの評価書(2002年)の乾燥させたまり花(Cone, kln-dried (RAC))の作物残留試験成績(収穫前日数:35日)より算出した換算係数0.29を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§9)大豆、小豆類、えんどう、そら豆、その他の豆類、未成熟いんげん、綿実及びその他のオイルシードについては、国内の水稲(玄米)の作物残留試験成績(収穫前日数:21日)より算出した換算係数0.47を米国の基準に乗じて基準値を算出した。

§10)かぶ類の葉、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、こまつな、チンゲンサイ、カリフラワー、アーティチョーク、チコリ、しゅんぎく及びその他のせり科野菜については、国内のほうれんそうの作物残留試験成績(収穫前日数:7日)より算出した換算係数0.61を米国の基準に乗じて基準値を算出した。

§11)しょうがについては、国内のばれいしょの作物残留試験成績(収穫前日数:14日)より算出した換算係数0.67を米国の基準に乗じて基準値を算出した。

§12)マルメロ、パパイヤ及びアボカドについては、JMPRの評価書(2002年)の仁果類に係る作物残留試験成績(収穫前日数:7日)より算出した換算係数0.59を米国の基準に乗じて基準値を算出した。

§13)ネクタリン、あんず(アプリコットを含む。)及びすもも(プルーンを含む。)については、国内のなすの作物残留試験成績(収穫前日数:1日)より算出した換算係数0.82を米国の基準に乗じて基準値を算出した。

§14)グアバについては、JMPRの評価書(2002年)のオレンジに係る作物残留試験成績(収穫前日数:14日及び15日)より算出した換算係数0.43を米国の基準に乗じて基準値を算出した。なお、グアバの作物残留試験成績は同一圃場同一時期で実施されているが、試験で使用されている作物の品種が異なることから独立の圃場とみなされている。

§15)ケールについては、JMPRの評価書(2015年)にイミダクロプリドの作物残留試験成績が記載されているため、換算係数を用いず、イミダクロプリドの残留濃度から基準値を算出した。

§16)ひまわりの種子、べにばなの種子及びなたねについては、JMPRの評価書(2002年及び2008年)に「なたね(使用方法:種子処理)」及び「ひまわりの種子(使用方法:種子処理)」のイミダクロプリド及び総イミダクロプリド(イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物)の残留濃度が、全て定量限界未満又は最高残留濃度(HR)が0.01mg/kgと記載されていることから、換算係数を用いず、基準値を0.01と算出した。

§17)ペカン、アーモンド、くるみ及びその他のナッツ類については、JMPRの評価書(2008年)に「アーモンド」にイミダクロプリド及び総イミダクロプリド(イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物)の残留濃度が、全て定量限界未満又は最高残留濃度(HR)が0.01mg/kgと記載されていることから、換算係数を用いず、基準値を0.01と算出した。

§18)茶については、JMPRの評価書(2015年)にイミダクロプリドの作物残留試験成績が記載されているため、換算係数を用いず、イミダクロプリドの残留濃度から基準値を算出した。

イミダクロプリドの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用 いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米 (玄米をいう。)	0.08	0.05	8.2	4.3	5.3	9.0
小麦	0.2	0.06	3.6	2.7	4.1	3.0
大麦	0.02	0.05	0.3	0.2	0.4	0.2
ライ麦	0.02	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
とうもろこし	0.02	0.05	0.2	0.3	0.3	0.2
そば	0.02	0.05	0.1	0.0	0.1	0.1
その他の穀類	3	2.915	0.6	0.3	0.3	0.9
大豆	2	0.376	14.7	7.7	11.8	17.3
小豆類	2	0.491	1.2	0.4	0.4	1.9
えんどう	2	0.491	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	2	0.491	0.3	0.1	0.4	0.4
らっかせい	0.5	0.12	0.2	0.1	0.1	0.2
その他の豆類	2	0.491	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.3	0.05	1.9	1.7	2.1	1.8
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.3	0.05	0.3	0.1	0.1	0.4
かんしょ	0.3	0.05	0.3	0.3	0.6	0.5
やまいも (長いもをいう。)	0.3	0.05	0.2	0.0	0.1	0.2
こんにゃくいも	0.3	0.05	0.1	0.0	0.0	0.1
その他のいも類	0.3	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.3	0.05	1.6	1.4	2.1	1.7
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.3	0.05	1.7	0.6	1.0	2.3
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	3	0.7	1.2	0.4	2.2	2.0
かぶ類の根	0.3	0.05	0.1	0.0	0.0	0.3
かぶ類の葉	2	2.96	0.9	0.3	0.3	1.8
西洋わさび	0.3	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	2	3.36	0.3	0.3	0.3	0.3
はくさい	2	0.47	8.3	2.4	7.8	10.2
キャベツ	2	0.47	11.3	5.5	8.9	11.2
芽キャベツ	2	0.47	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	0.7	1.3	0.3	0.1	0.1	0.3
こまつな	2	0.47	2.4	0.8	3.0	3.0
きょうな	5	2.725	6.0	1.1	3.8	7.4
チンゲンサイ	2	0.47	0.8	0.3	0.8	0.9
カリフラワー	2	0.47	0.2	0.1	0.0	0.2
ブロッコリー	4	0.595	3.1	2.0	3.3	3.4
その他のあぶらな科野菜	5	2.39	8.1	1.4	1.9	11.5
ごぼう	0.3	0.05	0.2	0.1	0.2	0.2
サルシフィー	0.3	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	2	1.552	0.2	0.2	0.2	0.2
チコリ	2	2.96	0.3	0.3	0.3	0.3
エンダイブ	5	3.665	0.4	0.4	0.4	0.4
しゅんぎく	2	3.36	5.0	1.0	8.7	8.4
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	2	0.33	3.2	1.5	3.8	3.0
その他のさく科野菜	5	2.46	3.7	0.2	1.5	6.4
たまねぎ	0.05	0.05	1.6	1.1	1.8	1.4
ねぎ (リーキを含む。)	0.5	0.235	2.2	0.9	1.6	2.5
にら	0.7	2.46	4.9	2.2	4.4	5.2
アスパラガス	0.6	0.107	0.2	0.1	0.1	0.3
わけぎ	2	1.054	0.2	0.1	0.1	0.2
その他のゆり科野菜	0.2	0.6	0.4	0.1	0.1	0.7
にんじん	0.3	0.05	0.9	0.7	1.1	0.9
パースニップ	0.3	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	3	3.294	0.3	0.3	0.3	0.7
セロリ	4	0.365	0.4	0.2	0.1	0.4
みつば	5	4.32	1.7	0.4	0.4	2.2
その他のせり科野菜	4	0.89	0.2	0.1	0.3	0.3
トマト	0.9	0.284	9.1	5.4	9.1	10.4
ピーマン	3	0.882	4.2	1.9	6.7	4.3
なす	1	0.233	2.8	0.5	2.3	4.0
その他のなす科野菜	4	1.7	1.9	0.2	2.0	2.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	1	0.344	7.1	3.3	4.9	8.8
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.6	0.31	2.9	1.1	2.4	4.0
しろうり	0.1	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか (果皮を含む。)	0.3	0.099	0.8	0.5	1.4	1.1
メロン類果実 (果皮を含む。)	0.7	0.382	1.3	1.0	1.7	1.6
まくわうり (果皮を含む。)	0.1	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	1	0.362	1.0	0.4	0.2	1.2

イミダクロプリドの推定摂取量 (単位: µg/人/日)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用 いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
ほうれんそう	9	4.6	58.9	27.1	65.3	80.0
オクラ	0.7	0.208	0.3	0.2	0.3	0.4
しょうが	0.3	0.05	0.1	0.0	0.1	0.1
未成熟えんどう	3	0.6	1.0	0.3	0.1	1.4
未成熟いんげん	2	0.491	1.2	0.5	0.0	1.6
えだまめ	1	0.51	0.9	0.5	0.3	1.4
その他の野菜(アマランサス(茎葉)、なんてん(葉)、食用か えて(葉)及びふだんそうを除く。)	2	1.71	67.0	27.1	65.3	80.0
その他の野菜(食用かえて(葉)及びふだんそうに限る。)	5	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜(アマランサス(茎葉)に限る。)	7	2.95	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜(なんてん(葉)に限る。)	10	6.49	0.0	0.0	0.0	0.0
みかん(外果皮を含む。)	1	0.823	14.6	13.5	0.5	21.6
なつみかんの果実全体	0.7	0.409	0.5	0.3	2.0	0.9
レモン	0.7	0.335	0.2	0.0	0.1	0.2
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	1	0.823	5.8	12.0	10.3	3.5
グレープフルーツ	0.7	0.409	1.7	0.9	3.6	1.4
ライム	0.7	0.335	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のかんきつ類果実	1	0.823	4.9	2.2	2.1	7.8
りんご	0.5	0.231	5.6	7.1	4.3	7.5
日本なし	0.6	0.38	2.4	1.3	3.5	3.0
西洋なし	0.6	0.38	0.2	0.1	0.0	0.2
マルメロ	0.4	0.235	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	4	1.15	0.6	0.3	2.2	0.5
もも(果皮及び種子を含む。)	1	0.501	1.7	1.9	2.7	2.2
ネクタリン	2	0.606	0.1	0.1	0.1	0.1
あんず(アブリコットを含む。)	2	0.606	0.1	0.1	0.1	0.2
すもも(ブルーンを含む。)	2	0.606	0.7	0.4	0.4	0.7
うめ	1	0.355	0.5	0.1	0.2	0.6
おうとう(チェリーを含む。)	2	0.55	0.2	0.4	0.1	0.2
いちご	0.3	0.17	0.9	1.3	0.9	1.0
ラズベリー	3	0.89	0.1	0.1	0.1	0.1
ブラックベリー	3	0.89	0.1	0.1	0.1	0.1
ブルーベリー	3	0.89	1.0	0.6	0.4	1.2
クランベリー	0.01	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ハuckleベリー	3	0.89	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のベリー類果実	3	0.89	0.1	0.1	0.2	0.1
ぶどう	3	0.816	7.1	6.7	16.5	7.3
かき	1	0.495	4.9	0.8	1.9	9.0
バナナ	0.04	0.01	0.1	0.2	0.2	0.2
キウイ(果皮を含む。)	15	1.73	3.8	2.4	4.0	5.0
パパイヤ	0.6	0.22	0.0	0.1	0.0	0.0
アボカド	0.6	0.22	0.1	0.0	0.0	0.1
グアバ	0.4	0.326	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	1	0.867	0.3	0.3	0.1	0.3
パッションフルーツ	0.7	0.364	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	3	0.89	1.1	0.4	0.8	1.5
ひまわりの種子	0.01	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ごまの種子	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
べにばなの種子	0.01	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	3	0.83	0.1	0.1	0.1	0.1
なたね	0.01	0.05	0.3	0.2	0.3	0.2
その他のオイルシード	0.02	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ぎんなん	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	30	6.4	42.2	6.4	23.7	60.2
コーヒー豆	0.6	0.35	1.2	0.0	0.1	0.8
カカオ豆	0.05	0.051	0.0	0.0	0.0	0.0
ホップ	3	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のスパイス	5	2.245	0.2	0.2	0.2	0.4
その他のハーブ	15	10.79	9.7	3.2	1.1	15.1
牛の筋肉及び脂肪	0.3	0.043	0.7	0.4	0.9	0.4
牛の肝臓	0.3	0.192	0.0	0.0	0.3	0.0
牛の腎臓	0.3	0.118	0.0	0.0	0.0	0.0
牛の食用部分	0.3	0.3	0.2	0.0	1.0	0.1
豚の筋肉及び脂肪	0.3	0.3	12.6	10.0	13.0	9.2

イミダクロプリドの推定摂取量 (単位: µg/人/日)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用 いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
豚の肝臓	0.3	0.3	0.0	0.2	0.0	0.0
豚の腎臓	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
豚の食用部分	0.3	0.3	0.2	0.1	0.0	0.1
その他の陸棲哺乳類の肉類	0.3	0.3	0.1	0.0	0.1	0.1
乳	0.1	0.06	15.8	19.9	21.9	13.0
鶏の筋肉及び脂肪	0.02	0.02	0.4	0.3	0.4	0.3
鶏の肝臓	0.06	0.058	0.0	0.0	0.0	0.0
鶏の腎臓	0.06	0.058	0.0	0.0	0.0	0.0
鶏の食用部分	0.06	0.06	0.1	0.1	0.2	0.1
その他の家きんの肉類	0.06	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0
鶏の卵	0.02	0.023	0.9	0.8	1.1	0.9
その他の家きんの卵	0.02	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
魚介類*	0.6	0.34	31.7	13.5	18.1	39.0
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			628.9	316.8	511.4	739.2
ADI比 (%)			20.0	33.7	15.3	23.1

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値(案)の数値を用いた。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

茶については、浸出液における作物残留試験結果がないため、JMPR(2015年)の荒茶の作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。

牛、豚及び鶏については、筋肉及び脂肪の摂取量に、高い方の平均的残留濃度等を乗じてEDI試算した。

その他の陸棲哺乳類については、その他の陸棲哺乳類の肉類の摂取量に、各組織のうち最も高い平均的残留濃度を乗じてEDI試算した。

*「魚介類(さけ目魚類に限る。)、魚介類(うなぎ目魚類に限る。)、魚介類(すずき目魚類に限る。)及び魚介類(その他の魚類に限る。)」については、動物用医薬品としての対象動物は魚類であるが、魚類のみの摂取量のデータがないため、魚類を含む魚介類の摂取量を用いて暴露評価を実施した。

イミダクロプリドの推定摂取量(短期)：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARfD (%)
米(玄米をいう。)	米	0.08	○ 0.05	0.3	0
小麦	小麦	0.2	○ 0.06	0.1	0
大麦	大麦	0.02	○ 0.05	0.0	0
	麦茶	0.02	○ 0.05	0.0	0
とうもろこし	スイートコーン	0.02	○ 0.05	0.6	1
そば	そば	0.02	○ 0.05	0.1	0
大豆	大豆	2	○ 0.376	0.4	1
小豆類	いんげん	2	○ 0.491	0.8	1
らっかせい	らっかせい	0.5	○ 0.12	0.2	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	○ 0.28	2.6	3
さといも類(やつがしらを含む。)	さといも	0.3	○ 0.28	1.5	2
かんしょ	かんしょ	0.3	○ 0.28	3.5	5
やまいも(長いもをいう。)	やまいも	0.3	○ 0.28	2.3	3
だいこん類(ラディッシュを含む。)	だいこんの根	0.3	○ 0.28	3.2	4
だいこん類(ラディッシュを含む。)	だいこんの葉	3	○ 2.7	22.3	30
かぶ類の根	かぶの根	0.3	○ 0.28	2.1	3
かぶ類の葉	かぶの葉	2	○ 3.40	9.0	10
はくさい	はくさい	2	○ 3.25	42.1	50
キャベツ	キャベツ	2	○ 3.25	31.0	40
ケール	ケール	0.7	○ 2.0	16.1	20
こまつな	こまつな	2	○ 3.25	13.8	20
きょうな	きょうな	5	10	33.3	40
チンゲンサイ	チンゲンサイ	2	○ 3.25	24.1	30
カリフラワー	カリフラワー	2	○ 3.25	24.1	30
ブロッコリー	ブロッコリー	4	○ 2.75	16.5	20
その他のあぶらな科野菜	たかな	5	10	78.5	100
	菜花	5	10	27.6	40
ごぼう	ごぼう	0.3	○ 0.28	1.4	2
しゅんぎく	しゅんぎく	2	10	32.6	40
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類	2	3	16.9	20
たまねぎ	たまねぎ	0.05	0.2	1.6	2
ねぎ(リーキを含む。)	ねぎ	0.5	○ 0.54	2.1	3
にら	にら	0.7	9	12.1	20
アスパラガス	アスパラガス	0.6	○ 0.336	0.7	1
わけぎ	わけぎ	2	3	5.9	8
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.2	2	3.5	5
	らっきょう	0.2	2	2.1	3
にんじん	にんじん	0.3	○ 0.28	1.3	2
	にんじんジュース	0.3	○ 0.05	0.3	0
パセリ	パセリ(生)	3	10	1.6	2
	パセリ(乾燥)	3	○ 3.294	2.9	4
セロリ	セロリ	4	○ 3.2	17.6	20
みつば	みつば	5	10	8.1	10
その他のせり科野菜	せり	4	○ 5.62	9.2	10
トマト	トマト	0.9	○ 0.636	7.0	9
ピーマン	ピーマン	3	○ 1.808	4.6	6
なす	なす	1	○ 0.712	4.6	6
その他のなす科野菜	とうがらし(生)	4	○ 1.89	3.0	4
	ししとう	4	○ 1.89	1.9	2
きゅうり(ガーキンを含む。)	きゅうり	1	1	6.3	8
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.6	○ 0.39	3.8	5
	ズッキーニ	0.6	○ 0.39	2.8	4
しろうり	しろうり	0.1	○ 0.11	0.9	1
すいか(果皮を含む。)	すいか	0.3	0.5	16.5	20
メロン類果実(果皮を含む。)	メロン	0.7	1	17.0	20
その他のうり科野菜	とうがん	1	2	34.0	40
	にがうり	1	2	16.1	20
ほうれんそう	ほうれんそう	9	○ 6.63	32.1	40

イミダクロプリドの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARfD (%)
オクラ	オクラ	0.7	0.7	1.0	1
しょうが	しょうが	0.3	○ 0.28	0.3	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	3	○ 3.8	6.2	8
	未成熟えんどう (豆)	3	○ 3.8	6.4	8
未成熟いんげん	未成熟いんげん	2	○ 0.491	1.0	1
えだまめ	えだまめ	1	1	2.5	3
その他の野菜 (アマランサス(茎葉)、なんてん(葉)、食用かえで(葉)及びふだんそうを除く。)	ずいき	2	5	50.6	70
	もやし	2	5	11.5	10
	れんこん	2	5	31.1	40
	そら豆 (生)	2	5	14.7	20
みかん (外果皮を含む。)	みかん	1	0.3	2.8	4
なつみかんの果実全体	なつみかん	0.7	2	24.9	30
レモン	レモン	0.7	2	4.2	5
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ	1	3	28.2	40
	オレンジ果汁	1	○ 0.059	0.6	1
グレープフルーツ	グレープフルーツ	0.7	2	34.4	40
その他のかんきつ類果実	きんかん	1	0.3	0.7	1
	ぼんかん	1	0.3	3.2	4
	ゆず	1	0.3	0.5	1
	すだち	1	0.3	0.5	1
りんご	りんご	0.5	0.7	10.0	10
	りんご果汁	0.5	○ 0.231	2.4	3
日本なし	日本なし	0.6	○ 0.71	10.7	10
西洋なし	西洋なし	0.6	○ 0.71	10.0	10
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	びわ	4	○ 3.4	24.4	30
もも (果皮及び種子を含む。)	もも	1	0.7	9.5	10
すもも (プルーンを含む。)	プルーン	2	○ 2.544	14.9	20
うめ	うめ	1	○ 0.77	1.1	1
おうとう (チェリーを含む。)	おうとう	2	○ 2.5	6.2	8
いちご	いちご	0.3	○ 0.35	1.3	2
ブルーベリー	ブルーベリー	3	○ 2.8	4.0	5
ぶどう	ぶどう	3	○ 1.64	22.1	30
かき	かき	1	2	28.6	40
バナナ	バナナ	0.04	○ 0.05	0.6	1
キウイ (果皮を含む。)	キウイ	15	○ 8.78	49.7	60
アボカド	アボカド	0.6	1	7.1	9
マンゴー	マンゴー	1	2	27.0	40
その他の果実	いちじく	3	○ 2.8	21.5	30
ごまの種子	ごまの種子	0.05	○ 0.05	0.0	0
ぎんなん	ぎんなん	0.05	○ 0.05	0.0	0
くり	くり	0.05	○ 0.05	0.1	0
アーモンド	アーモンド	0.01	○ 0.01	0.0	0
くるみ	くるみ	0.01	○ 0.01	0.0	0
茶	緑茶類	30	○ 6.4	3.9	5
カカオ豆	カカオ豆	0.05	○ 0.056	0.0	0
ホップ	ホップ	3	○ 0.7	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁 (値が100を超える場合は有効数字2桁) とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

茶については、浸出液における作物残留試験結果がないため、JMPR (2015年) の荒茶の作物残留試験結果を用いて試算をした。

みかん(外果皮を含む。)、その他のかんきつ類果実及びもも(果皮及び種子を含む。)については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

イミダクロプリドの推定摂取量（短期）：幼児（1～6歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARfD (%)
米（玄米をいう。）	米	0.08	○ 0.05	0.5	1
小麦	小麦	0.2	○ 0.06	0.2	0
大麦	大麦	0.02	○ 0.05	0.0	0
	麦茶	0.02	○ 0.05	0.1	0
とうもろこし	スイートコーン	0.02	○ 0.05	1.2	2
大豆	大豆	2	○ 0.376	0.4	1
らっかせい	らっかせい	0.5	○ 0.12	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	○ 0.28	6.4	8
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.3	○ 0.28	3.5	5
かんしょ	かんしょ	0.3	○ 0.28	7.1	9
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.3	○ 0.28	3.8	5
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.3	○ 0.28	6.1	8
はくさい	はくさい	2	○ 3.25	50.9	70
キャベツ	キャベツ	2	○ 3.25	50.8	70
こまつな	こまつな	2	○ 3.25	28.9	40
ブロッコリー	ブロッコリー	4	○ 2.75	39.6	50
ごぼう	ごぼう	0.3	○ 0.28	1.8	2
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	2	3	29.5	40
たまねぎ	たまねぎ	0.05	0.2	3.5	5
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.5	○ 0.54	3.5	5
にら	にら	0.7	9	19.0	20
にんじん	にんじん	0.3	○ 0.28	2.9	4
パセリ	パセリ（生）	3	10	1.7	2
トマト	トマト	0.9	○ 0.636	17.3	20
ピーマン	ピーマン	3	○ 1.808	11.8	20
なす	なす	1	○ 0.712	11.1	10
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	1	1	14.6	20
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.6	○ 0.39	6.3	8
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.3	0.5	43.3	60
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.7	1	29.3	40
ほうれんそう	ほうれんそう	9	○ 6.63	74.4	100
オクラ	オクラ	0.7	0.7	3.0	4
しょうが	しょうが	0.3	○ 0.28	0.4	1
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	3	○ 3.8	4.7	6
	未成熟えんどう（豆）	3	○ 3.8	6.8	9
未成熟いんげん	未成熟いんげん	2	○ 0.491	2.0	3
えだまめ	えだまめ	1	1	2.8	4
その他の野菜	もやし	2	5	21.0	30
	れんこん	2	5	51.4	70
みかん（外果皮を含む。）	みかん	1	0.3	8.2	10
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	1	3	80.8	100
	オレンジ果汁	1	○ 0.059	1.1	1
りんご	りんご	0.5	0.7	22.5	30
	りんご果汁	0.5	○ 0.231	7.8	10

イミダクロプリドの推定摂取量（短期）：幼児（1～6歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARfD (%)
日本なし	日本なし	0.6	○ 0.71	20.4	30
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	○ 0.7	29.7	40
うめ	うめ	1	○ 0.77	2.6	3
いちご	いちご	0.3	○ 0.35	3.8	5
ぶどう	ぶどう	3	○ 1.64	50.2	70
かき	かき	1	○ 2	41.8	50
バナナ	バナナ	0.04	○ 0.05	1.9	2
ごまの種子	ごまの種子	0.05	○ 0.05	0.0	0
茶	緑茶類	30	○ 6.4	6.2	8
カカオ豆	カカオ豆	0.05	○ 0.056	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	○ 0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

茶については、浸出液における作物残留試験結果がないため、JMPR（2015年）の荒茶の作物残留試験結果を用いて試算をした。

みかん（外果皮を含む。）及びもも（果皮及び種子を含む。）については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

(参考)

これまでの経緯

平成 4年11月 4日	初回農薬登録
平成17年11月29日	残留基準告示
平成18年 3月17日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：稲）
平成18年 9月 4日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成19年 2月23日	厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成19年 6月14日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成21年 5月20日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成21年 6月19日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成22年 4月 6日	残留基準告示
平成21年 5月11日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：なす、ほうれんそう等）
平成21年10月21日	農林水産大臣から食品安全委員会委員長あてに飼料中（穀類及び乾牧草）残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成21年12月18日	インポートトレランス設定の申請（牛の筋肉等）
平成22年 1月25日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成22年 9月 9日	食品安全委員会委員長から農林水産大臣及び厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成23年 5月27日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成23年12月27日	残留基準告示
平成24年10月 4日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年10月15日	食品安全委員会委員長から農林水産大臣及び厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成24年10月23日	薬事・食品衛生審議会諮問
平成24年10月30日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成25年 7月 2日	残留基準告示
平成27年 2月20日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：食用ゆり、ごま等）
平成27年11月17日	農林水産大臣から食品安全委員会委員長あてに飼料中（穀類及び乾牧草）残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成27年11月16日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成28年 7月12日	食品安全委員会委員長から農林水産大臣及び厚生労働大臣あて

				に食品健康影響評価について通知
平成28年	12月	27日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会	
平成29年	7月	18日	残留基準告示	
令和4年	6月	2日	インポートトレランス申請（こまつな、チンゲンサイ）	
令和4年	10月	20日	インポートトレランス申請（魚類）	
令和4年	12月	14日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請及び農林水産大臣から食品安全委員会委員長あてに農薬の再評価に係る食品健康影響評価について要請	
令和5年	7月	3日	インポートトレランス申請（はくさい、キャベツ等）	
令和7年	4月	4日	農林水産省から消費者庁へ農薬の再評価に係る連絡	
令和7年	7月	16日	食品安全委員会委員長から内閣総理大臣及び農林水産大臣あてに食品健康影響評価について通知	
令和8年	4月	3日	農林水産省から消費者庁へ農薬の適用拡大申請及び農薬の再評価の連絡並びに基準値設定依頼（適用拡大：なんてん（葉））	
令和8年	5月	13日	食品衛生基準審議会へ諮問	
令和8年	5月	19日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会	

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- | | | |
|-----|-----|---------------------------|
| 大山 | 和俊 | 一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長 |
| ○折戸 | 謙介 | 学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授 |
| 加藤 | くみ子 | 国立医薬品食品衛生研究所薬品部長 |
| 近藤 | 麻子 | 日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部本部長 |
| 須恵 | 雅之 | 東京農業大学応用生物科学部教授 |
| 瀧本 | 秀美 | 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事 |
| 田口 | 貴章 | 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長 |
| ◎堤 | 智昭 | 国立医薬品食品衛生研究所食品部長 |
| 中島 | 美紀 | 金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授 |
| 野田 | 隆志 | 一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問 |

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

イミダクロプリドについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

イミダクロプリド

今回残留基準を設定する「イミダクロプリド」の規制対象は、農産物、はちみつ及び魚類にあつては、イミダクロプリドとし、畜産物にあつては、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物とする。ただし、6-クロロピリジル基を有する代謝物はイミダクロプリドの濃度に換算するものとする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.08
小麦	0.2
大麦	0.02
ライ麦	0.02
とうもろこし	0.02
そば	0.02
その他の穀類 ^{注1)}	3
大豆	2
小豆類 ^{注2)}	2
えんどう	2
そら豆	2
らっかせい	0.5
その他の豆類 ^{注3)}	2
ばれいしょ	0.3
さといも類（やつがしらを含む。）	0.3
かんしょ	0.3
やまいも（長いもをいう。）	0.3
こんにやくいも	0.3
その他のいも類 ^{注4)}	0.3
てんさい	0.3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	3
かぶ類の根	0.3
かぶ類の葉	2
西洋わさび	0.3
クレソン	2
はくさい	2
キャベツ	2
芽キャベツ	2
ケール	0.7
こまつな	2

食品名	残留基準値 ppm
きょうな	5
チンゲンサイ	2
カリフラワー	2
ブロッコリー	4
その他のあぶらな科野菜 ^{注5)}	5
ごぼう	0.3
サルシフィー	0.3
アーティチョーク	2
チコリ	2
エンダイブ	5
しゅんぎく	2
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	2
その他のきく科野菜 ^{注6)}	5
たまねぎ	0.05
ねぎ（リーキを含む。）	0.5
にら	0.7
アスパラガス	0.6
わけぎ	2
その他のゆり科野菜 ^{注7)}	0.2
にんじん	0.3
パースニップ	0.3
パセリ	3
セロリ	4
みつば	5
その他のせり科野菜 ^{注8)}	4
トマト	0.9
ピーマン	3
なす	1
その他のなす科野菜 ^{注9)}	4
きゅうり（ガーキンを含む。）	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.6
しろうり	0.1
すいか（果皮を含む。）	0.3
メロン類果実（果皮を含む。）	0.7
まくわうり（果皮を含む。）	0.1
その他のうり科野菜 ^{注10)}	1
ほうれんそう	9
オクラ	0.7
しょうが	0.3
未成熟えんどう	3
未成熟いんげん	2

食品名	残留基準値 ppm
えだまめ	1
その他の野菜 ^{注11)} (アマランサス (茎葉)、 なんてん (葉)、食用かえで (葉) 及びふだ んそうを除く。)	2
その他の野菜 (食用かえで (葉) 及びふだ んそうに限る。)	5
その他の野菜 (アマランサス (茎葉) に限る。)	7
その他の野菜 (なんてん (葉) に限る。)	10
みかん (外果皮を含む。)	1
なつみかんの果実全体	0.7
レモン	0.7
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	1
グレープフルーツ	0.7
ライム	0.7
その他のかんきつ類果実 ^{注12)}	1
りんご	0.5
日本なし	0.6
西洋なし	0.6
マルメロ	0.4
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	4
もも (果皮及び種子を含む。)	1
ネクタリン	2
あんず (アプリコットを含む。)	2
すもも (プルーンを含む。)	2
うめ	1
おうとう (チェリーを含む。)	2
いちご	0.3
ラズベリー	3
ブラックベリー	3
ブルーベリー	3
クランベリー	0.01
ハックルベリー	3
その他のベリー類果実 ^{注13)}	3
ぶどう	3
かき	1
バナナ	0.04
キウイ (果皮を含む。)	15
パパイヤ	0.6
アボカド	0.6
グアバ	0.4
マンゴー	1
パッションフルーツ	0.7
その他の果実 ^{注14)}	3
ひまわりの種子	0.01

食品名	残留基準値
	ppm
ごまの種子	0.05
べにばなの種子	0.01
綿実	3
なたね	0.01
その他のオイルシード ^{注15)}	0.02
ぎんなん	0.05
くり	0.05
ペカン	0.01
アーモンド	0.01
くるみ	0.01
その他のナッツ類 ^{注16)}	0.01
茶	30
コーヒー豆	0.6
カカオ豆	0.05
ホップ	3
その他のスパイス ^{注17)}	5
その他のハーブ ^{注18)}	15
牛の筋肉	0.3
豚の筋肉	0.3
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注19)} の筋肉	0.3
牛の脂肪	0.3
豚の脂肪	0.3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3
牛の肝臓	0.3
豚の肝臓	0.3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3
牛の腎臓	0.3
豚の腎臓	0.3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.3
牛の食用部分 ^{注20)}	0.3
豚の食用部分	0.3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.3
乳	0.1
鶏の筋肉	0.02
その他の家きん ^{注21)} の筋肉	0.02
鶏の脂肪	0.02
その他の家きんの脂肪	0.02
鶏の肝臓	0.06
その他の家きんの肝臓	0.06
鶏の腎臓	0.06
その他の家きんの腎臓	0.06

食品名	残留基準値 ppm
鶏の食用部分 その他の家きんの食用部分	0.06 0.06
鶏の卵 その他の家きんの卵	0.02 0.02
魚介類 魚介類（さけ目魚類 ^{注22} に限る。） 魚介類（うなぎ目魚類に限る。） 魚介類（すずき目魚類に限る。） 魚介類（その他の魚類 ^{注23} に限る。）	0.6 0.6 0.6 0.6 0.6
はちみつ	0.05

- 注1) 「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。
- 注2) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。
- 注3) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。
- 注4) 「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。
- 注5) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。
- 注6) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）及びハーブ以外のものをいう。
- 注7) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。
- 注8) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
- 注9) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
- 注10) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。
- 注11) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
- 注12) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。
- 注13) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。
- 注14) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（ブルーベリーを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。
- 注15) 「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。
- 注16) 「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。
- 注17) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。
- 注18) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。
- 注19) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。
- 注20) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。
- 注21) 「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

注22) 「さけ目魚類」には、さけ目魚類のほか、にしん目魚類及びきゅうりうお目魚類を含む。

注23) 「その他の魚類」とは、魚類のうち、さけ目類（にしん目魚類及びきゅうりうお目魚類を含む。）、うなぎ目類及びすずき目類以外のものをいう。